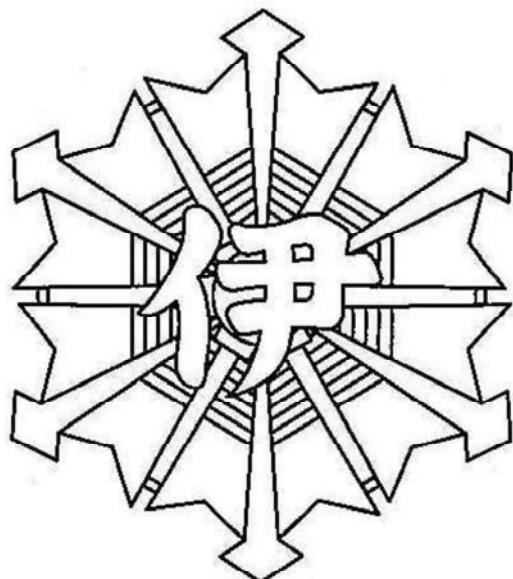


消 防 年 報

平 成 2 6 年 版



伊達地方消防組合消防本部

(平成 2 7 年 7 月刊行)

は し が き

この年報は、伊達地方消防組合の現勢と消防諸般の事項を収録し、その現状を広く紹介することに併せ、消防行政の推進のため編集したものであります。

この資料を一つの参考として広域消防行政の実態をご理解いただき、より一層のご支援ご協力を賜れば幸いと存じます。

なお、各消防統計は、暦年又は年度で表し、また消防状況の逐年傾向を知るため必要なものについては過去にさかのぼり集録したものであります。

平成27年7月

伊達地方消防組合消防本部

目 次

1 伊達地方消防組合のあゆみ	1
2 伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調	9
3 伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力	9
4 伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調	10
5 総 務	
(1) 伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織	12
(2) 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌	13
(3) 消防機関所在地	19
(4) 消防庁舎の現状	21
(5) 平成27年度一般会計予算	22
(6) 職員配置状況調	23
(7) 職員階級別勤続年数調	24
(8) 職員階級別年齢調	25
(9) 職員市町村別居住地調	25
(10) 職員研修状況調	26
(11) 職員特殊技能その他資格取得者調	27
6 予 防	
火災統計	
平成26年火災概要	29
(1) 平成26年火災総括表	30
(2) 火災概況及び比較表	31
(3) 市町別・月別火災発生状況	32
(4) 火災件数と損害額	33
(5) 火災種別発生率	34
(6) 市町別火災発生率	34
(7) 時間別火災発生状況	35
(8) 覚知方法別出火件数	35
(9) 出火率の推移	36
(10) 火災による死傷者の推移	36
(11) 過去5年間における各市町火災発生状況	37
(12) 原因別火災発生状況	38
(13) 気象別出火件数調(湿度)	39
(14) 気象別出火件数調(風速)	39
(15) 曜日別出火件数調	40

(16) 気象別出火件数調(天候) 40

(17) 全国及び福島県の火災記録(10年間) 41

危険物統計

(1) 市町別危険物製造所等 43

(2) 倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設) 44

(3) 容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設) 44

予防統計

(1) 市町別・工事種別同意処理状況 46

(2) 市町別・月別同意処理状況 46

(3) 市町別・用途別建築同意処理状況 47

(4) 防火対象物施設数 48

(5) 防火対象物の階層別・面積別調 49

(6) 甲種防火対象物防火管理者選任届出状況 50

(7) 乙種防火対象物防火管理者選任届出状況 51

(8) 防火対象物立入検査実施状況 52

(9) 消防用設備等の届出、検査済証件数 53

(10) 火災予防条例等に基づく届出状況 54

7 警防

(1) 伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図 56

(2) 消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離 57

(3) 相互応援協定 58

(4) 現勢消防力調 59

(5) 消防水利現状調 59

(6) 消防車両等の現勢調 60

(7) 無線局配置状況調 62

(8) 消防機器の現有状況 63

8 救助統計

(1) 事故種別出場件数活動件数調 67

(2) 事故種別車両別救出者搬送人員調 67

(3) 事故種別出場人員活動人員調 68

(4) 事故種別出場車両及び活動車両等台数調 69

(5) 事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調 70

(6) 事故種別発生場所別救助人員調 71

9 救急統計

平成26年救急活動の概要 73

(1) 市町別・月別救急出場状況 74

(2) 市町別・事故種別救急出場状況	75
(3) 事故種別救急出場状況(前年比較)	76
(4) 搬送人員傷病程度別分類状況	77
(5) 搬送人員年齢別比率	77
(6) 市町別救急出場状況(前年比較)	78
(7) 急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調	79
(8) 医療機関別搬送状況	80
(9) 一日の出場件数比率	81
(10) 事故種別救急出場件数比率	81
(11) 月別出場件数(前年比較)	82
(12) 事故種別・時間別救急出場状況	83
(13) 性別・年齢別搬送人員状況	84
(14) 過去5年間の事故種別救急出場状況	85
(15) 現場到着所要時間別出場件数調	86
(16) 収容時間別搬送人員数調	86
(17) 過去10年の救急出場件数	87
(18) 市町別の救急出場率及び搬送割合の推移	88
(19) 署・分署別救急出場状況(前年比較)	89
(20) 救急隊が人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調	90

伊達地方消防組合のあゆみ

- 昭和 36.11. 1 保原町に常備消防部新設、部員 5 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 37. 4. 1 保原町常備消防部 部員 1 名増員、総員 6 名となる。
- 昭和 38.10.25 保原町常備消防部に小型動力ポンプ(B3級)1 台配置される。
- 昭和 41. 6. 1 常備消防協議会方式による桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部を桑折町字堰下 1 番地内に新設、部員 7 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 42. 4.12 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部に日本損害保険協会より消防ポンプ自動車 1 台寄贈される。
- 昭和 44. 4. 1 保原町常備消防部 部員 2 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 44.10. 1 梁川町に役場職員併任による常備消防部新設、部員 24 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 44.11. 1 川俣町に常備消防部新設、部員 9 名、消防ポンプ自動車 1 台配置される。
- 昭和 45. 2. 1 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備消防部 部員 1 名増員、総員 8 名となる。
- 昭和 45. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 11 名となる。
- 昭和 46. 1.14 川俣町常備消防部に日本自動車工業会より救急車 1 台寄贈される。
- 昭和 46. 2. 1 消防に関する事務を共同処理するため、伊達地方消防組合の設立について、桑折町、伊達町、国見町、梁川町、保原町、靈山町及び月館町の各町議会においてそれぞれ議決される。
- 昭和 46. 3. 9 福島県知事へ伊達地方消防組合設立の許可申請をする。
- 昭和 46. 4. 1 福島県指令地第 572 号をもって設立が許可され伊達地方消防組合が発足する。
- 昭和 46. 4. 1 川俣町常備消防部救急業務開始に伴い部員 2 名増員、総員 13 名となる。
- 昭和 46. 5. 1 伊達地方消防組合に消防本部を設置する。
県より職員 1 名の派遣を受ける。
- 昭和 46. 9. 1 消防職員 1 名採用、総員 2 名となる。
- 昭和 46.10. 1 消防職員採用試験を実施する。
- 昭和 46.10.11 消防職員 13 名採用、総員 15 名となる。
- 昭和 46.10.21 消防本部、中央消防署及び東分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
- 昭和 46.12.24 消防本部に司令車 1 台配置する。
- 昭和 47. 1. 7 消防職員 20 名採用、総員 35 名となる。
- 昭和 47. 2. 1 消防職員 1 名採用、総員 36 名となる。
- 昭和 47. 3.27 消防本部、中央消防署庁舎(鉄筋コンクリート一部 3 階建 973.73 m²、建設事業費 55,870 千円)を保原町大字大泉字大地内 93 番地内に新築、また東分署庁舎(鉄筋コンクリート 2 階建 377.71 m²、建設事業費 20,050 千円)を靈山町大字下小国字畠尻 45 番地内に新築する。
- 昭和 47. 3.28 日本損害保険協会より救急車(3B型)1 台寄贈される。
- 昭和 47. 4. 1 伊達地方消防組合に中央消防署を設置し、署に東分署、西分署及び北分署を設置する。
中央消防署に消防ポンプ自動車 1 台及び救急車(3B型)1 台配置、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各 1 台配置し、消防救急業務を開始する。
保原町より職員 1 名、靈山町より職員 1 名の派遣を受ける。
- 桑折町、伊達町及び国見町 3 町常備部より職員 8 名、梁川町常備部より職員 1 名及び保原町常備部より職員 7 名採用、総員 54 名となる。
- 昭和 47. 4. 1 川俣町常備消防部 部員 2 名増員、総員 15 名となる。
- 昭和 47. 5. 1 消防職員 30 名採用、総員 84 名となる。

昭和 47. 7.15	日本船舶振興会より救急車(2B型)1台寄贈され西分署に配置する。
昭和 47. 8.28	西分署及び北分署庁舎建設工事請負契約を締結する。
昭和 48. 1.20	中央消防署、東分署、西分署及び北分署に消防ポンプ自動車各1台配置する。 中央消防署及び東分署に広報連絡車各1台配置する。 東分署及び北分署に可搬式小型動力ポンプ1台配置する。
昭和 48. 1.30	西分署及び北分署に広報連絡車各1台配置する。
昭和 48. 3.27	西分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 570.92 m ² 、建設事業費 31,700 千円)を桑折町大字上郡字楽5番地内に新築、また北分署庁舎(鉄筋コンクリート2階建 382.97 m ² 、建設事業費 23,910 千円)を梁川町字東塩野川63番地内に新築する。
昭和 48. 3.31	派遣職員1名靈山町に復帰、総員83名となる。
昭和 48. 4. 1	川俣町及び飯野町が伊達地方消防組合に加入する。 中央消防署に南分署を設置し、消防ポンプ自動車1台、救急車(2B型)1台をもって消防救急業務を開始する。 川俣町より職員1名の派遣を受ける。 川俣町常備消防部より職員14名、消防職員8名採用、総員106名となる。
昭和 48. 5.20	南分署に広報連絡車1台配置する。
昭和 48. 6. 1	消防職員1名採用、1名退職、総員106名となる。
昭和 48.10.30	東分署及び北分署に救急車各1台配置する。
昭和 48.11.29	日本自動車工業会より救急車(2B型)1台寄贈され南分署に配置する。
昭和 49. 3.13	南分署に消防ポンプ自動車及び可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
昭和 49. 3.15	中央消防署に水槽付消防ポンプ自動車(水槽 1,900ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)1台配置する。
昭和 49. 3.28	西分署に化学消防ポンプ自動車(薬液槽 500ℓ、水槽 1,800ℓ、低発泡及び高発泡発生放射装置、自動噴霧装置、三連はしご装備)1台配置する。
昭和 49. 4. 1	派遣職員1名県に復帰、月館町より職員1名の派遣を受ける。 消防職員10名採用、総員116名となる。
昭和 49.11. 1	南分署配置の消防ポンプ自動車1台を川俣町に返還する。
昭和 50. 1.17	南分署に消防ポンプ自動車1台配置する。
昭和 50. 2.13	中央消防署に救助工作車1台配置する。
昭和 50. 4. 1	東北高速自動車道、郡山～白石間の開通に伴い、救急業務を開始する。 消防職員5名採用、総員121名となる。
昭和 50. 6.30	派遣職員1名川俣町に復帰、総員120名となる。
昭和 50. 8. 1	消防職員1名退職、総員119名となる。
昭和 50.11. 1	消防本部配置の司令車1台更新する。
昭和 51. 3. 4	西分署に救急車(2B型)1台配置する。
昭和 51. 6.30	派遣職員1名月館町に復帰、総員118名となる。
昭和 51.10. 1	消防本部に予防査察車1台配置する。
昭和 52. 1.14	南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。 中央消防署及び西分署に可搬式小型動力ポンプ各1台配置する。
昭和 52. 3.31	消防職員1名退職、総員117名となる。
昭和 52. 4. 1	消防職員9名採用、総員126名となる。
昭和 52.10.27	中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。
昭和 53. 2.28	消防職員1名退職、総員125名となる。

- 昭和 53. 4.20 消防職員 1名退職、総員 124 名となる。
- 昭和 54. 1.27 西分署及び北分署配置の広報連絡車各 1台更新する。
- 昭和 54. 1.31 中央消防署配置の救急車(2B型)1台更新する。
- 昭和 54. 2. 3 北分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54. 3. 5 北分署配置の消防ポンプ自動車 1台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 54. 4. 1 消防職員 10名採用、1名退職、総員 133 名となる。
- 昭和 54.10.26 中央消防署訓練場用地 2,911 m²を取得拡張整備する。
- 昭和 54.10.30 南分署配置の広報連絡車 1台更新する。
- 西分署配置の救急車(2B型)1台更新する。
- 昭和 54.12. 7 中央消防署及び西分署配置の消防ポンプ自動車各 1台更新する。
- 東分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車を水槽付消防ポンプ自動車(水槽 2,000ℓ、発動発電投光器、三連はしご装備)に更新する。
- 昭和 54.12.13 中央消防署配置の消防ポンプ自動車を伊達町に、東分署配置の消防ポンプ自動車を靈山町に、西分署配置の消防ポンプ自動車を国見町にそれぞれ譲渡する。
- 南分署配置の消防ポンプ自動車 1台を飯野町に譲渡する。
- 昭和 54.12.14 訓練塔本体新築工事請負契約を締結する。
- 南分署配置の救急車(2B型)1台更新する。
- 昭和 55. 7.28 東分署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各 1台更新する。
- 昭和 55.10. 1 東分署配置の消防ポンプ自動車 1台を月館町に譲渡する。
- 昭和 55.12.18 北分署配置の消防ポンプ自動車 1台を梁川町に譲渡する。
- 昭和 56. 1.16 高所訓練塔(鉄筋コンクリート 5 階建 245 m²)耐熱耐炎訓練塔兼補助塔(鉄筋コンクリート 2 階建 495.5 m²)建築事業費 86,400 千円で新築する。
- 昭和 56. 3.31 県消防学校へ 1名派遣、1名退職、総員 132 名となる。
- 昭和 56. 4.30 消防職員 1名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 56. 6.20 消防職員 1名退職、総員 130 名となる。
- 昭和 56. 7. 7 第 4 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 昭和 56. 9.30 消防職員 1名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 56.11. 3 消防職員 1名採用、総員 130 名となる。
- 昭和 56.11.16 東分署及び北分署配置の救急車各 1台更新する。
- 昭和 56.12.24 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1台更新する。
- 昭和 57. 1.18 中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1台を保原町に譲渡する。
- 昭和 57. 3.15 中央消防署にはしご付消防ポンプ自動車(24M 級)1台配置する。
- 昭和 57. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1台寄贈され、西分署に配置する。
- 昭和 57. 3.31 消防職員 1名退職、総員 129 名となる。
- 昭和 57. 4. 1 消防職員 3名採用、総員 132 名となる。
- 昭和 57. 4.21 消防職員 1名退職、総員 131 名となる。
- 昭和 57. 9.30 消防本部配置の司令車、査察車各 1台更新する。
- 昭和 58. 1.31 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 58. 2.26 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1台更新する。
- 昭和 58. 3.10 南分署配置の消防ポンプ自動車 1台を川俣町に譲渡する。
- 昭和 58. 3.11 西分署配置の消防ポンプ自動車 1台を桑折町に譲渡する。

- 昭和 58. 4. 1 消防職員 8 名採用、総員 139 名となる。
- 昭和 58. 5.30 消防本部に事務連絡車 1 台配置する。
- 昭和 58.11.21 中央消防署配置の救急車(予備車)1 台更新する。
- 昭和 59. 2. 2 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車並びに西分署配置の化学消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
- 昭和 59. 2.24 中央消防署配置の救急車(予備車)更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 59. 2.25 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車を梁川町に、西分署配置の化学消防ポンプ自動車を川俣町に譲渡する。
- 昭和 59. 4.30 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 昭和 59. 9.27 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 昭和 59.11.10 中央消防署厚生室、仮眠室(72 m^2)を増築する。
- 昭和 60. 3. 6 伊達地方消防組合並びに川俣町消防団が自治省消防長官より表彰(竿頭綬授与)される。
- 昭和 60. 4. 1 伊達地方消防組合消防本部の組織に関する規則の一部を改正、消防課を警防課、予防課の 2 課に改組する。
- 昭和 60. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
- 昭和 60. 6.22 消防本部配置の査察車 1 台更新する。
- 昭和 60. 8.20 消防本部配置の査察車更新に伴い旧車両を照明車に改造、中央消防署に配置する。
- 昭和 60.11.19 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 昭和 61. 2.24 東分署、南分署及び北分署配置の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 3.25 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され、中央消防署配置の救急車を更新する。
- 昭和 61. 3.31 中央消防署配置の救急車更新に伴い旧車両を指揮広報車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 61. 4.12 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 昭和 61. 6.10 消防本部配置の水防用人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 昭和 61. 7. 9 中央消防署及び西分署の小型動力ポンプ各 1 台更新する。
- 昭和 61. 7.10 車庫兼資材庫(鉄骨ブロック造 60 m^2)を新築する。
- 昭和 62. 5.15 伊達地方消防組合消防本部並びに梁川町消防団が 8.5 水害救援救助活動によって福島県知事より表彰(竿頭綬授与)される。
- 昭和 62. 6. 8 中央消防署に消防用トラック(2t)1 台配置する。
- 昭和 62. 8.31 (財)日本消防協会より救急車(2B型)1 台寄贈され、西分署配置の救急車を更新する。
- 昭和 62.12. 1 西分署配置の救急車更新に伴い旧車両を水防用人員資器材搬送車に改造、消防本部に配置する。
- 昭和 62.12.28 南分署庁舎炊事室(9.5 m^2)を増築する。
- 昭和 63. 1.25 消防本部配置の旧水防用人員資器材搬送車 1 台廃車する。
- 昭和 63. 4. 1 消防職員 2 名採用、総員 144 名となる。
- 昭和 63. 8. 1 西分署及び南分署配置の広報連絡車各 1 台更新する。
- 平成 元. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 143 名となる。
- 平成 元. 4. 3 消防職員 1 名採用、総員 144 名となる。
- 平成 元.6.29 第 12 回福島県消防救助技術大会を当消防本部中央消防署訓練場にて開催する。
- 平成 元.12.15 北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 2. 1.31 南分署配置の救急車 1 台更新する。

平成 2. 4. 1 4週6休制実施(3部制試行)する。

平成 2.10.15 東分署及び北分署配置の救急自動車各1台更新する。

平成 3. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。

平成 3.12.18 西分署配置の救急車1台更新する。

平成 4. 1.16 水槽付消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。

平成 4. 2. 7 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

平成 4. 3.31 消防職員1名退職、総員142名となる。

平成 4. 4. 1 消防職員3名採用、総員145名となる。

平成 4.10.26 消防職員1名退職、総員144名となる。

平成 4.12. 2 消防ポンプ自動車1台を月館町に譲渡する。

平成 5. 1.29 東分署配置の消防ポンプ自動車1台更新する。

平成 5. 2.14 完全週休2日制を実施する。

平成 5. 3.26 福島県共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1台寄贈され、中央消防署配置の救急車(予備車)を更新する。

平成 5. 3.31 消防職員1名退職、総員143名となる。

平成 5. 9.30 財団法人日本防火協会より防火広報車1台寄贈される。

平成 5.10.31 消防職員1名退職、総員142名となる。

平成 6. 3.10 中央消防署及び北分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。

平成 6. 3.31 消防職員1名退職、総員141名となる。

平成 6. 4. 1 福島県消防学校に職員1名を平成8年3月31日までの期間派遣する。

平成 6. 6.30 消防職員1名退職、総員140名となる。

平成 6. 9.13 消防本部配置の司令車1台を更新し、旧車両を連絡車として消防本部に配置する。

平成 6. 9.30 消防本部配置の事務連絡車1台廃車する。

平成 7. 1.24 東分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

平成 7. 3.31 消防職員1名退職、総員139名となる。

平成 7. 6.30 消防職員1名退職、総員138名となる。

平成 7. 7. 9 水槽付消防ポンプ自動車1台を月館町に譲渡する。

平成 7. 9.13 消防本部配置の連絡車1台廃車する。

平成 7. 9.26 南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

平成 8. 4. 1 消防職員3名採用、総員141名となる。

平成 8. 9.20 中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各1台更新する。

平成 8.10.14 西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各1台更新する。

平成 8.10.25 消防ポンプ自動車1台を梁川町に譲渡する。

平成 8.12.25 消防本部に事務連絡車1台配置する。

平成 9. 3.31 消防職員1名退職、総員140名となる。

平成 9. 6.23 消防本部配置の査察車1台更新する。

平成 9.12.18 中央消防署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。

平成 10. 4. 1 高度救急業務を開始する。

消防職員3名採用、総員143名となる。

福島県消防防災航空隊に職員1名を平成13年3月31日までの期間派遣する。

平成 10.10.28 中央消防署配置の水槽付消防ポンプ自動車1台更新する。

- 平成 10.11.13 水槽付消防ポンプ自動車 1 台を梁川町に譲渡する。
- 平成 11. 3. 8 西分署配置の救急自動車を高規格救急自動車に更新する。
- 平成 11. 3.30 福島綜合警備保障株式会社より広報連絡車(トヨタカルディナバン 1500cc)1 台寄贈され南分署配置の広報連絡車を更新する。
- 平成 11. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 142 名となる。
- 平成 11.11.29 西分署配置の化学消防ポンプ自動車 1 台更新する。
- 平成 12. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 141 名となる。 ’
- 平成 12. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 145 名となる。
- 平成 12. 9.30 消防職員 1 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 12.11.28 南分署配置の救急自動車 1 台更新する。
- 平成 12.12. 8 西分署配置の高規格救急自動車 1 台を南分署に、南分署配置の救急自動車 1 台を西分署にそれぞれ配置替えする。
- 平成 13. 1.10 中央消防署配置の救助工作車 1 台更新する。
- 平成 13. 3.31 消防職員 4 名退職、総員 140 名となる。
- 平成 13. 7.31 消防職員 1 名退職、総員 139 名となる。
- 平成 13.11.12 西分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 13.11.14 東分署及び北分署配置の救急自動車各 1 台更新する。
- 平成 14. 2. 6 消防本部配置の人員資器材搬送車 1 台更新する。
- 平成 14. 3.31 消防職員 1 名退職、総員 138 名となる。
- 平成 14. 4. 1 消防職員 5 名採用、総員 143 名となる。
- 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 16 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 15. 2.26 北分署庁舎(鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 2 階建 560.57 m²、建設事業費 209,837 千円)を梁川町希望ヶ丘 97 番地の 1 に新築移転する。
- 平成 15. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 146 名となる。
- 平成 15. 6.30 全国共済農業協同組合連合会より救急車(2B型)1 台寄贈され西分署配置の救急車 1 台更新する。
- 平成 16. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 144 名となる。
- 平成 16. 4. 1 消防職員 3 名採用、総員 147 名となる。
- 福島県消防学校に職員 1 名を平成 18 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 16.10.23 新潟県中越地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 5 名派遣する。
- 平成 17. 3.31 消防職員 2 名退職、総員 145 名となる。
- 平成 17. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 149 名となる。
- 平成 17.11. 4 中央消防署に指揮兼照明車 1 台配置する。
- 北分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
- 平成 18. 1. 1 伊達町、梁川町、保原町、靈山町及び月館町が合併し、伊達市となり、1 市 4 町で構成する消防組合となる。
- 平成 18. 3.31 消防職員 3 名退職、総員 146 名となる。
- 平成 18. 4. 1 消防職員 4 名採用、総員 150 名となる。
- 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 20 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
- 平成 18. 4.10 平成 18 年 1 月 1 日伊達市設置に伴い、福島県知事へ伊達地方消防組合規約変更の許可申請をする。
- 平成 18. 5. 1 福島県指令北振第 69 号をもって規約変更が許可される。
- 平成 19. 3.31 消防職員 6 名退職、総員 144 名となる。

平成 19. 4. 1	消防職員7名採用、総員 151 名となる。
平成 19. 9. 5	消防本部配置の防火広報車1台更新する。
平成 19.12.22	中央消防署配置の救急自動車(予備車)1台を高規格救急自動車に更新し、南分署に配置、南分署配置の救急自動車を中央消防署(予備車)に配置替えする。
平成 20. 3.27	地方自治法の一部を改正する法律の施行により、収入役制度が会計管理者制度となつたこと並びに平成 20 年 7 月 1 日をもって飯野町が福島市に編入合併となることに伴い、福島県知事へ伊達地方消防組合規約変更の許可申請をする。
平成 20. 3.31	福島県指令北振第 7028 号をもって規約変更が許可される。 消防職員 7 名退職、総員 144 名となる。
平成 20. 4. 1	消防職員 8 名採用、総員 152 名となる。 福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 22 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成 20. 5.14	東分署訓練場等拡張用地 957 m ² を取得する。
平成 20. 6.14	岩手・宮城内陸地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
平成 20. 7. 1	飯野町が福島市に編入合併したことに伴い、1 市 3 町の消防組合となる。 福島市より旧伊達郡飯野町の区域における消防事務(消防団に関する事務並びに水利施設の設置、維持及び管理に関する事務を除く。)の委託を受ける。
平成 20. 7.24	岩手県沿岸北部地震被災地に緊急消防援助隊福島県隊として 2 隊 6 名派遣する。
平成 20.10.31	東分署訓練場等敷地を拡張造成する。
平成 21. 2.20	財団法人日本消防協会より指揮広報車(スバルレガシー 2000cc)1 台寄贈される。
平成 21. 3.12	財団法人日本消防協会寄贈の指揮広報車 1 台を消防本部に配置する。 東分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。 北分署配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台更新する。
平成 21. 3.31	消防職員 10 名退職、総員 142 名となる。
平成 21. 4. 1	消防職員 9 名採用、総員 151 名となる。
平成 21.12.22	中央消防署配置の高規格救急自動車 1 台及び資機材搬送車 1 台それぞれ更新する。
平成 22. 2. 8	北分署配置の消防ポンプ自動車 1 台更新する。
平成 22. 3.31	消防職員 8 名退職、総員 143 名となる。
平成 22. 4. 1	消防職員 10 名採用、総員 153 名となる。 福島県消防学校に職員 1 名を平成 24 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成 22.10. 1	家庭救命士制度創設。普通救命講習 3 回以上受講者に対し交付開始する。
平成 23. 3.11	東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)発生、警防本部を設置のうえ、全職員体制で災害に対応する。大震災に伴い、東京電力福島第一原子力発電所で事故発生、放射能漏えいが起こる。福島県広域消防相互応援協定に基づき、浜通りで応援活動を行う。
平成 23. 3.14	中央消防署配置のはじご付消防自動車 1 台更新する。
平成 23. 3.31	消防職員 7 名退職、総員 146 名となる。
平成 23. 4. 1	消防職員 7 名採用、総員 153 名となる。
平成 23. 4.22	原発事故の影響により、川俣町山木屋地区が、隣接の相馬郡飯館村等とともに計画的避難区域に指定され、同地区住民が避難を強いられる。以後、居住者のいない山木屋地区で想定される火災の大規模化に対応するため、火災予防巡回を展開する。
平成 23. 5. 1	東日本大震災と原発事故の影響により、平成 23 年 4 月 1 日付予定の定期人事異動が 1 カ月遅れで行われる。
平成 23. 5.25	原発事故による警戒区域等からの避難者の一時帰宅に対し、傷病者発生時対応のため平成 23 年 8 月 26 日まで延べ救急隊 21 隊及び支援隊 16 隊の派遣協力をを行う。
平成 24. 2.20	中央消防署配置の消防ポンプ自動車 1 台及び同配置の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)1 台をそれぞれ更新する。旧水槽付消防ポンプ自動車は、東分署

	に配置替えし、東分署の水槽付消防ポンプ自動車を、伊達市に譲渡する。
平成 24. 2.28	原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、南分署の水槽付消防ポンプ自動車と北分署の水槽付消防ポンプ自動車(圧縮泡消火システム搭載)を配置替えする。
平成 24. 3.28	全国共済農業協同組合連合会より高規格救急自動車 1 台寄贈される。
平成 24. 3.29	原発事故による計画的避難区域である川俣町山木屋地区の火災対応のため、大阪府高槻市消防本部より、小型動力ポンプ付水槽車 1 台の無償譲渡を受ける。
平成 24. 3.31	消防職員 9 名退職、総員 144 名となる。
平成 24. 4. 1	消防職員 11 名採用、総員 155 名となる。
	福島県消防学校に職員 1 名を平成 26 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成 24. 4. 6	平成 24 年 3 月 28 日全国共済農業協同組合連合会から寄贈された高規格救急自動車を西分署に、平成 24 年 3 月 29 日に大阪府高槻市消防本部から無償譲渡された小型動力ポンプ付水槽車を南分署にそれぞれ配置する。
平成 25. 1.21	東分署配置の高規格救急自動車 1 台更新する。
平成 25. 2.12	南分署配置の水槽付消防ポンプ自動車 1 台更新する。
平成 25. 3.31	消防職員 3 名退職、総員 152 名となる。
平成 25. 4. 1	消防職員 11 名採用、総員 163 名となる。
平成 25.12.20	福島県消防防災航空隊に職員 1 名を平成 28 年 3 月 31 日までの期間派遣する。
平成 25.12.25	南分署の広報連絡車と東分署の広報連絡車を配置替えする。
	消防本部配置の査察車 1 台、中央消防署及び東分署配置の広報連絡車各 1 台をそれぞれ更新する。
平成 26. 1.10	西分署及び南分署配置の消防ポンプ自動車各 1 台更新する。
平成 26. 1.24	消防本部配置の事務連絡車 1 台更新する。
平成 26. 3. 4	北分署配置の救急自動車 1 台を高規格救急自動車に更新する。
平成 26. 3. 5	伊達地方消防組合並びに桑折町消防団が総務省消防庁長官より表彰(竿頭綬授与)される。
平成 26. 3.31	消防職員 19 名退職、総員 144 名となる。
平成 26. 4. 1	消防職員 10 名採用、総員 154 名となる。
平成 26. 5.30	消防本部及び中央消防署庁舎建設工事請負契約を締結する。
平成 26.11.25	平成 25 年度原子力災害避難指示区域消防活動交付金事業により、南分署水槽車車庫を新築する。
平成 27. 2. 6	南分署配置の広報連絡車 1 台更新する。
平成 27. 2.12	平成 25 年度原子力災害避難指示区域消防活動交付金事業により、南分署配置の水槽車を更新する。
平成 27. 3.31	消防職員 8 名退職、総員 146 名となる。
	福島市との消防事務委託を廃止する。
平成 27. 4. 1	消防職員 4 名採用、総員 150 名となる。

伊達地方消防組合市町別・面積・世帯数・人口調

(平成27年4月1日現在)

区分 市町別	面 積 (km ²)	世 带 数 (世帯)	人 口		
			計(人)	男(人)	女(人)
伊 達 市	265.10	22,310	63,480	31,018	32,462
桑 折 町	42.97	4,545	12,406	5,917	6,489
国 見 町	37.90	3,396	9,729	4,675	5,054
川 俣 町	127.66	5,543	14,620	7,236	7,384
合 計	473.63	35,794	100,235	48,846	51,389

伊達地方消防組合市町別・面積・人口・世帯数に対する消防力

(平成27年4月1日現在)

区分 市町別	管轄署(分署)	消防吏員 1人当たり		消防団員 1人当たり		消防ポンプ 1台当たり		
		人口	世帯数	人口	世帯数	人口	世帯数	面積km ²
伊達市保原町	消防本部・中央消防署							
伊達市梁川町	中央消防署北分署							
伊達市靈山町	中央消防署東分署			47.9	16.8	529.0	185.9	2.2
伊達市月館町								
伊 達 市 (旧伊達町)								
桑 折 町	中央消防署西分署	668.2	238.6	35.9	13.1	496.2	181.8	1.7
国 見 町				38.6	13.5	486.5	169.8	1.9
川 俣 町	中央消防署南分署			28.8	10.9	332.3	126.0	2.9
1 市 3 町	1 本 部 ・ 1 署 ・ 4 分 署	668.2	238.6	41.2	14.7	479.6	171.3	2.3

※ 消防ポンプは団ポンプ、可搬ポンプも含む。

伊達地方消防組合管理者等及び組合議員等調

管 理 者 等

(平成27年7月1日現在)

職 名	氏 名	現 職 名	備 考
管 理 者	仁 志 田 昇 司	伊 達 市 長	
副 管 理 者	高 橋 宣 博	桑 折 町 長	
"	太 田 久 雄	国 見 町 長	
"	古 川 道 郎	川 俣 町 長	
会 計 管 理 者	大 戸 久 一	伊達市会計管理者	

組 合 議 員

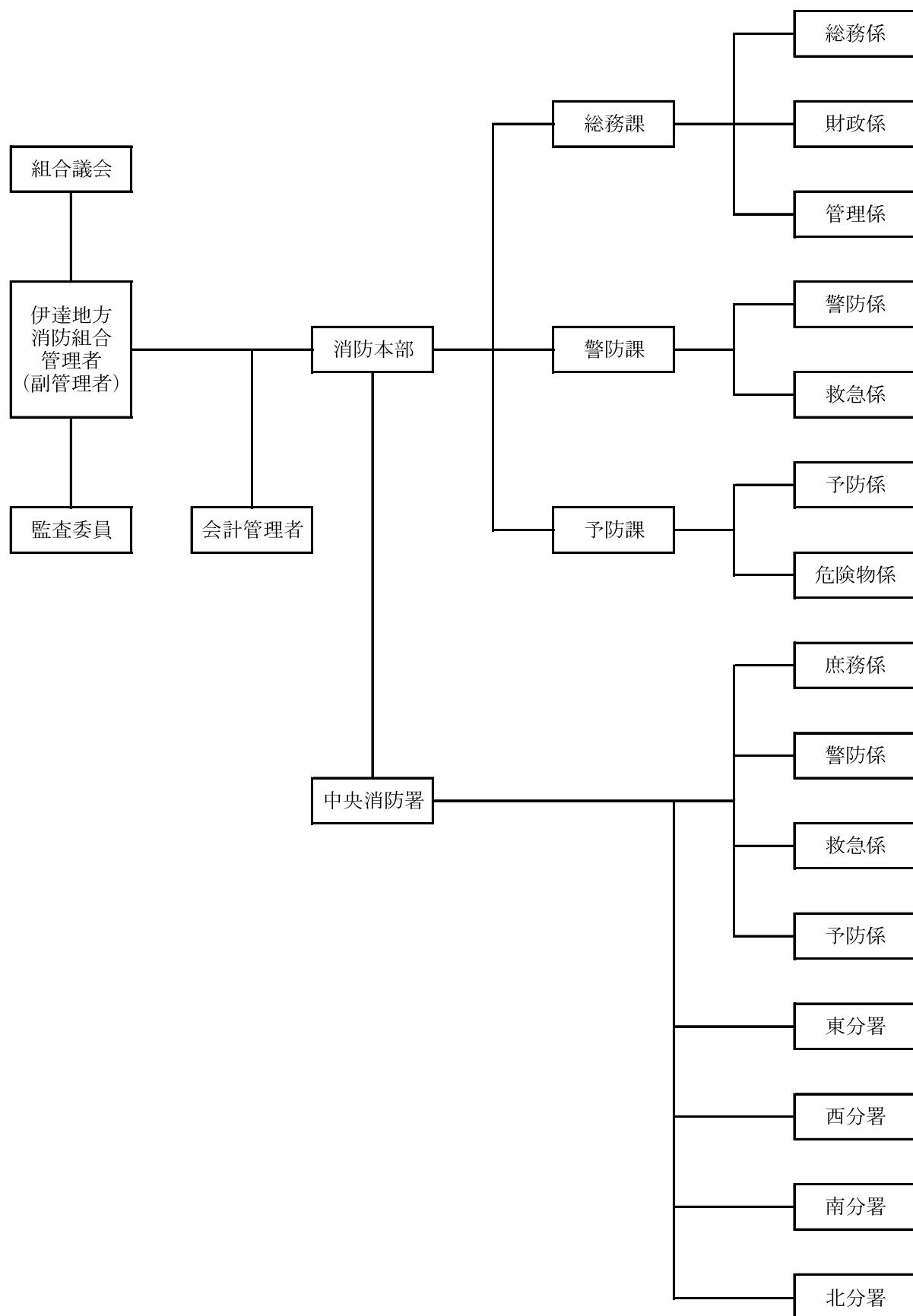
議 長	佐 々 木 彰	伊 達 市 議 会 議 員	
副 議 長	原 賢 志	桑 折 町 議 会 議 員	
議 員	佐 藤 武 朗	桑 折 町 議 会 議 員	
"	村 上 正 勝	国 見 町 議 会 議 員	
"	渡 迂 勝 弘	" 議 会 議 員	
"	橘 典 雄	伊 達 市 議 会 議 員	
"	佐 藤 清 壽	" 議 会 議 員	
"	菊 地 邦 夫	" 議 会 議 員	
"	小 野 誠 滋	" 議 会 議 員	
"	大 條 一 郎	" 議 会 議 員	
"	半 澤 隆	" 議 会 議 員	
"	高 橋 真 一 郎	川 俣 町 議 会 議 員	
"	鳴 原 利 光	" 議 会 議 員	

監 査 委 員

委 員	佐 藤 静 雄		識 見 者
"	高 橋 真 一 郎		議 会 選 出

總務

伊達地方消防組合・消防本部・消防署組織



伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)事務分掌

消防本部事務分掌

総務課

- 1 組織及び総合企画、調整に関すること。
- 2 職員の任免、分限、懲戒、服務その他身分に関すること。
- 3 職員の給与その他勤務条件に関すること。
- 4 条例、規則及び規程等に関すること。
- 5 公印の管理に関すること。
- 6 叙位、叙勲及び表彰に関すること。
- 7 文書の収受、発送、編集及び保存に関すること。
- 8 職員の教養及び研修に関すること。
- 9 財務に関すること。
- 10 職員の服制に関すること。
- 11 職員の給貸与品に関すること。
- 12 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- 13 職員の公務災害等補償に関すること。
- 14 職員の共済事務等に関すること。
- 15 消防の広報及び消防統計に関すること。
- 16 消防長会に関すること。
- 17 消防施設の維持管理及び營繕に関すること。
- 18 伊達地方消防組合事務に関すること。
- 19 その他特命事項に関すること。
- 20 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

警防課

- 1 火災その他災害の警戒及び防ぎよに関すること。
- 2 消防計画及び訓練に関すること。
- 3 消防対策の企画立案及び総合調整に関すること。
- 4 消防通信に関すること。

- 5 消防の地理、水利に関すること。
- 6 消防車両の整備に関すること。
- 7 各種消防装備資器材等の整備、管理に関すること。
- 8 消防装備資器材の取り扱い及び技術開発研究に関すること。
- 9 警防隊の総合運用に関すること。
- 10 職員の教養訓練に関すること。
- 11 救急業務に関すること。
- 12 防災及び救急医療機関との連絡調整に関すること。
- 13 救助業務に関すること。
- 14 特命救助隊に関すること。
- 15 消防相互応援に関すること。
- 16 警防、救急、救助統計及び消防情報に関すること。
- 17 救急隊及び救助隊の運用に関すること。
- 18 救急知識の普及向上に関すること。
- 19 災害防除及び救助技術の研究、指導、訓練に関すること。
- 20 職員の安全管理に関すること。
- 21 救急及び救助用装備資器材の整備、管理に関すること。
- 22 災害の受付及び出場指令に関すること。
- 23 災害通信の運用及び通信統制に関すること。
- 24 救急搬送証明に関すること。
- 25 防災会議及び災害対策本部に関すること。
- 26 消防団との連絡協調に関すること。
- 27 消防協会伊達支部に関すること。
- 28 その他特命事項に関すること。
- 29 その他、他の主管に属さない警防事務に関すること。

予 防 課

- 1 火災予防対策の企画及び総合調整に関すること。
- 2 防火思想の普及向上に関すること。
- 3 予防査察に関すること。
- 4 建築物の許可、認可又は確認同意に関すること。
- 5 火災気象通報の伝達及び火災警報の発令等に関すること。

- 6 火災原因、損害の調査並びに火災報告に関すること。
- 7 予防統計及び予防情報に関すること。
- 8 予防広報及び広聴に関すること。
- 9 危険物の規制及び保安に関すること。
- 10 液化石油ガス販売施設の意見書に関すること。
- 11 火災予防条例に関すること。
- 12 防火管理に関すること。
- 13 消防用設備等の指導及び検査に関すること。
- 14 災害証明に関すること。
- 15 報道関係機関との連絡に関すること。
- 16 自主防災組織の育成、指導に関すること。
- 17 危険物安全協会に関すること。
- 18 消防設備士協会に関すること。
- 19 予防用資器材の整備及び管理に関すること。
- 20 その他特命事項に関すること。
- 21 その他、他の主管に属さない予防事務に関すること。

中央消防署事務分掌

庶務係

- 1 公印の管理に関すること。
- 2 文書の収受、発送及び保存に関すること。
- 3 職員の服務に関すること。
- 4 職員の給与の支給に関すること。
- 5 職員の健康管理及び福利厚生に関すること。
- 6 職員の被服等の給貸与に関すること。
- 7 庁舎の維持管理に関すること。
- 8 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 9 分署に関すること。
- 10 その他、他の主管に属さない事項に関すること。

警防第1係、警防第2係、警防第3係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関すること。
2. 警防、救急隊の編成及び運用に関すること。
3. 救助隊の編成及び運用に関すること。
- 4 消防計画の運用に関すること。
- 5 車両の点検、整備及び管理に関すること。
- 6 消防、救助、救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 7 職員の教養訓練に関すること。
- 8 装備及び資材に関すること。
- 9 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関すること。
- 10 災害現場における警戒区域の設定に関すること。
- 11 警防調査に関すること。
- 12 消防団との連絡及び協同行動に関すること。
- 13 自衛消防隊の指導に関すること。
- 14 相互応援の実施に関すること。
- 15 その他、他の主管に属さない警防、救急及び救助に関すること。

救急第1係、救急第2係、救急第3係

- 1 救急隊の編成及び運用に関すること。
- 2 救急用機械器具及び設備の点検、整備及び運用に関すること。
- 3 その他、他の主管に属さない救急に関すること。

予防第1係、予防第2係、予防第3係

- 1 火災等災害予防の企画及び指導に関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 4 危険物規制の調査、指導及び取締りに関すること。
- 5 防火管理の指導に関すること。
- 6 建築許可等の同意事務の調査に関すること。
- 7 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 8 屋外における火災予防に関すること。
- 9 火の使用の制限に関すること。
- 10 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 11 火災等災害報告に関すること。
- 12 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 13 防火協力団体の指導に関すること。
- 14 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

分署事務分掌

庶務係

- 1 文書の收受、発送及び保存に関すること。
- 2 職員の服務に関すること。
- 3 職員の健康管理に関すること。
- 4 庁舎の維持管理に関すること。
- 5 庁舎内設備の点検、整備及び使用に関すること。
- 6 その他、他の主管に属さない庶務に関すること。

警防救急係

- 1 火災等災害の警戒及び鎮圧に関すること。
- 2 警防、救急及び救助活動並びに訓練に関すること。
- 3 警防隊及び救急隊の編成、運用に関すること。
- 4 車両の点検、整備及び管理に関すること。
- 5 消防、救急用機械器具及び設備の点検、整備に関すること。
- 6 装備及び資材に関すること。
- 7 消防の地理及び水利の調査並びに水利の確保に関すること。
- 8 警防調査に関すること。
- 9 消防団との連絡及び協同行動に関すること。
- 10 自衛消防隊の指導に関すること。
- 11 その他、他の主管に属さない警防、救急に関すること。

予 防 係

- 1 消防対象物等の防火査察、指導及び取締りに関すること。
- 2 火災等災害の原因調査及び損害調査に関すること。
- 3 火災等災害気象の通報及び警報の伝達に関すること。
- 4 屋外における火災予防に関すること。
- 5 火の使用の制限に関すること。
- 6 火災予防思想の普及宣伝に関すること。
- 7 火災等災害報告に関すること。
- 8 火災予防条例関係の届出に関すること。
- 9 防火協力団体の指導に関すること。
- 10 その他、他の主管に属さない火災等災害予防に関すること。

消防機関所在地

名称	所在地	電話番号	郵便番号
伊達地方消防組合 消防本部	伊達市保原町大泉字大地内 93-1	TEL 024-575-0180 FAX 024-575-4103	960-0634
中央消防署	"	TEL 024-575-4101 FAX 024-575-4124	"
中央消防署東分署	伊達市靈山町下小国字畠尻 45-3	TEL 024-586-1254 FAX 024-586-3430	960-0808
中央消防署西分署	桑折町大字上郡字楽 5	TEL 024-582-3190 FAX 024-582-4904	969-1661
中央消防署南分署	川俣町字五百田 31	TEL 024-566-2145 FAX 024-566-4406	960-1428
中央消防署北分署	伊達市梁川町希望ヶ丘 97-1	TEL 024-577-1244 FAX 024-577-4469	960-0729



←消防本部・中央消防署



東分署→



←西分署



南分署→



←北分署

消防訓練塔



消防庁舎の現状

区分 名 称	敷地面積 m ²	構 造	建築延面積 m ²	建築年月日
消 防 本 部	5,864	鉄筋コンクリート造 3階建	1,081.96	昭和 47.3
中 央 消 防 署		鉄筋コンクリート造 5階建	245.0	昭和 56.2
高 所 訓 練 塔		鉄筋コンクリート造 2階建	495.5	昭和 56.2
耐熱耐煙訓練塔兼補助塔		鉄骨ブロック造平屋建	60.0	昭和 61.7
車 庫 兼 資 材 庫		鉄筋コンクリート造 2階建	377.71	昭和 47.3
東 分 署	1,988	鉄筋コンクリート造 2階建	570.92	昭和 48.3
西 分 署	2,005	鉄骨ブロック造 2階建	465.23	昭和 44.10
南 分 署	1,441	鉄骨造平屋建プレハブ	70.82	平成 26.11
車 庫 兼 資 材 庫		鉄筋コンクリート造一部部鉄骨造 2階建	560.57	平成 15.2
北 分 署	2,113			

平成27年度一般会計予算

歳 入

(単位:千円)

款	本年 度 予 算 額 A	左 の 構 成 率 %	前 年 度 予 算 額 B	左 の 構 成 率 %	比 較	
					A — B	(A — B) %
1 分担金及び負担金	1,381,000	56.3	1,430,400	52.1	△ 49,400	△ 3.5
2 使用料及び手数料	723	0.0	723	0.0	0	0.0
3 国 庫 支 出 金	20,000	0.8	0	0.0	20,000	
4 県 支 出 金	62,546	2.5	44,590	1.6	17,956	40.3
5 財 産 収 入	139	0.0	139	0.0	0	0.0
6 寄 附 金	1	0.0	1	0.0	0	0.0
7 繰 入 金	132,000	5.4	19,000	0.7	113,000	594.7
8 繰 越 金	3,000	0.1	3,000	0.1	0	0.0
9 諸 収 入	10,091	0.4	9,747	0.4	344	3.5
10組 合 債	843,500	34.4	1,237,400	45.1	△ 393,900	△ 31.8
歳 入 合 計	2,453,000	99.9	2,745,000	100.0	△ 292,000	△ 10.6

歳 出

(単位:千円)

款	本年 度 予 算 額 A	左 の 構 成 率 %	前 年 度 予 算 額 B	左 の 構 成 率 %	比 較	
					A — B	(A — B) %
1 議 会 費	1,254	0.1	1,257	0.0	△ 3	△ 0.2
2 総 務 費	81,386	3.3	36,971	1.3	44,415	120.1
3 消 防 費	2,295,258	93.6	2,648,105	96.5	△ 352,847	△ 13.3
4 公 債 費	71,184	2.9	54,451	2.1	16,733	30.7
5 予 備 費	3,918	0.2	4,216	0.2	△ 298	△ 7.1
歳 出 合 計	2,453,000	100.1	2,745,000	100.1	△ 292,000	△ 10.6

職員配置状況調

(平成27年4月1日現在)

区分	階級 人員										
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他 の職員	毎日勤務者数	
合計	150	1	5	36	24	30	11	43		29	
消防本部	消防長	1	1							1	
	次長	1		1						1	
	参考事	1		1						1	
	総務課長	(1)		(1)						(1)	
	総務課主幹	1			1					1	
	総務係	2			1		1			2	
	管理係	1				1				1	
	財政係	2			1		1			2	
	警防課長	1		1						1	
	警防課主幹	2			2					2	
	警防係	2			1	1				2	
	救急係	(1)			(1)					(1)	
	指令担当	9			3	3		1	2		
	予防課長	(1)		(1)						(1)	
	予防課主幹	1			1					1	
	予防係	2				1	1			2	
	危険物係	1				1				1	
	消防本部付	1				1				1	
	計	28	1	3	10	8	3	1	2	19	
中央消防署	署長	1		1						1	
	次長	1		1						1	
	主幹(当直司令)	3			3						
	庶務係	4(4)			1		2(1)		1(3)		
	警防係	10(1)			1	3	1		5(1)		
	救急係	8			2	2	4				
	予防係	6(3)			2	(1)	2(2)		2		
	東分署	19			4	3	4	2	6	1	
	西分署	25			4	3	7	2	9	1	
	南分署	22			5	2	4	3	8	1	
	北分署	19			4	3	3	3	6	1	
	中央消防署付	4							4	4	
	計	122		2	26	16	27	10	41	10	

(注) : ()は兼務を示す。

職員階級別勤続年数調

(平成27年4月1日現在)

年数\階級	計	消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	その他 の職員
1年未満	4							4	
1年以上 2年未満	10							10	
2年以上 3年未満	11							11	
3年以上 4年未満	11							11	
4年以上 5年未満	7							7	
5年以上 6年未満	10					4	6		
6年以上 7年未満	9					5	4		
7年以上 8年未満	8					7	1		
8年以上 9年未満	7					7			
9年以上 10年未満	3					3			
10年以上 11年未満	4				1	3			
11年以上 12年未満	3				3				
12年以上 13年未満	3				3				
13年以上 14年未満	5				4	1			
14年以上 15年未満									
15年以上 16年未満	4				4				
16年以上 17年未満									
17年以上 18年未満	3				3				
18年以上 19年未満									
19年以上 20年未満	3				3				
20年以上 21年未満									
21年以上 22年未満									
22年以上 23年未満									
23年以上 24年未満	3				3				
24年以上 25年未満									
25年以上 26年未満									
26年以上 27年未満									
27年以上 28年未満	2				2				
28年以上 29年未満									
29年以上 30年未満									
30年以上	40	1	5	34					
合 計	150	1	5	36	24	30	11	43	
平均年数	14.90	41.00	37.40	37.05	15.33	5.63	5.54	2.20	

職 員 階 級 別 年 齢 調

(平成27年4月1日現在)

年齢 階級	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他の職員
20歳以下	12							12	
21歳～25歳	38					4	6	28	
26歳～30歳	32				1	23	5	3	
31歳～35歳	16				13	3			
36歳～40歳	7				7				
41歳～45歳	5			2	3				
46歳～50歳	10			10					
51歳～55歳	11			11					
56歳以上	19	1	5	13					
合 計	150	1	5	36	24	30	11	43	
平均年齢	34.36	59.00	57.40	53.19	35.29	27.83	25.27	21.72	

職 員 市 町 村 別 居 住 地 調

(平成27年7月1日現在)

年齢 階級	計	消防監	消防 司令長	消防 司令	消防 司令補	消防 士長	消防 副士長	消防士	その他の職員
伊達市	78	1	2	17	12	19	6	21	
桑折町	15		2	2	4	4	1	2	
国見町	10		1	4	1		2	2	
川俣町	19			8	3	4	1	3	
福島市	28			5	3	3	1	16	
玉川村					1				
合 計	150	1	5	36	23	30	11	44	

職 員 研 修 状 況 調

(平成26年度)

区 分	人 員	階級別内訳						
		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
福 島 県 消 防 学 校	初任教育	10						10
	救急科	11						11
	予防査察科	2					1	1
	火災調査科	2					1	1
	救助科	2					2	
	初級幹部科	2					2	
	指揮隊長科	3			3			
	救急救命士養成補助教育科	2						2
	放射線基礎研修	12			2	2	4	4
消防大 学校	幹部科	1		1				
東京研 修所	救急救命士養成研修	2			1	1		
計		49		6	3	10	8	22

職員特殊技能その他資格取得者調

平成27年4月1日現在

種別		階級		消防監	消 司 令	防 長	消 司 令	防 令	消 司 令	防 補	消 士	防 長	消 副 士	防 長	消防士	その他 の職員	計
警防 ・ 救急 関連	自動車運 転免許等	大型		1	3		23		24		30		9		19		109
		中型															0
		中型(8t中型限定)			2		13						1				16
		普通											1		24		25
	小型船舶操縦士						11		13		4						28
	潜水士						2		5		1			1			9
	日本赤十字社水上安全法救助員						6				1			1			8
	高所作業車技能								1		1						2
	小型移動式クレーン技能講習						11		11		10			2			34
	玉掛け技能講習						11		11		8			3			33
予防 ・ 消防 ・ 電気工事士	巻上げ機械運転特別教育						9		4		1						14
	酸素欠乏等危険作業主任者技能講習								6		1						7
	ガス溶接技能講習						8		7		4			6			25
	救急	救急救命士		1			18		11		4		1				35
		気管挿管					19		11		4		1				35
		薬剤投与					5		11		5		1				22
		II課程	1	3	36												40
		I課程			1												1
		救急科 <small>(旧標準課程含む)</small>						23		28		11		29			91
		ACLS	1				17										18
		JPTEC					14		10		15		7		26		72
		BLS					4		7		13		6		26		56
	特殊無線技士						10		18		13		3		39		83
その他	予防技術 検定	防火査察							12		24		3				39
		危険物							3		5						8
		消防用設備等							3								3
	危険物 取扱者	甲種	1						1								2
		乙種	1	1	13		14		26		7		20				82
	消防 設備士	甲種															0
		乙種	1	1	2		2		1								7
	防火対象物点検資格者						1		1								2
	電気工事士						1					1		1			5
	衛生管理者						1		1		2						4
	衛生推進者養成講習						1		1								2
	特定化学物質等作業主任者		1	1	8		1										11

火 災 統 計

平成27年度全国統一防火標語

『無防備な 心に火災が かくれんぼ』

平成26年火災概要

1 火災件数

総出火件数は43件で、前年の69件に比べ、26件（37.7%）減少した。

火災種別ごとの内訳（割合）でみると、建物火災が23件（53.5%）、林野火災が1件（2.3%）、車両火災が3件（7.0%）及びその他の火災が16件（37.2%）となっており、建物火災が半数を占めている。また、建物火災のうち住宅火災は16件で、建物火災の69.6%を占めている。

市町別に火災の発生状況をみると、伊達市が19件（前年比32件減）、次いで川俣町7件（前年同）、国見町7件（前年同）、桑折町5件（前年比3件増）及び福島市飯野町3件（同2件増）、東北自動車道2件（同1件増）となった。

2 焼損棟数及び焼損面積

焼損棟数は39棟で、前年に比べ11棟増加している。

焼損程度別にみると、全焼が19棟（焼損棟数比48.7%）、半焼が2棟（同5.1%）、部分焼が10棟（同25.7%）、ぼやが8棟（同20.5%）で、建物火災1件あたりの焼損棟数は1.7棟（前年比39.7%増）であった。

林野の焼損面積については、22aと前年に比べ139a減少した。

林野火災における焼損面積については、161aと前年に比べ124a増加した。

3 死者及び傷者

火災による死者は3名で前年同、傷者は7名で前年比6名減となった。

死者2名（放火自殺者1名を除く）については、住宅火災の逃げ遅れによるものと、着衣着火によるもので、いずれも高齢者であった。

4 損害額

損害額は、1億810万円で、前年に比べると7,440万2千円増加した。

1日平均でみると、29万6千円で、前年と比べると20万4千円増加した。

要因としては、前年に比べ焼損棟数が11棟増加していることが挙げられる。

5 出火原因

出火原因別（その他及び不明を除く）にみると、たき火6件が最も多く、次いでストーブ、放火がそれぞれ4件、風呂かまど3件、こんろ、内燃機関、火入れがそれぞれ2件、こたつ及び取灰が1件と続いている。多くが人的要因により発生している。

また、危険物施設以外の場所でガソリンに引火して発生した火災が5件発生していることから、一般住民に対しガソリンの危険性と貯蔵取扱い方法について、引き続き注意を呼び掛けていく必要がある。

平成26年火災総括表

区分		市町名		伊達市					桑折町	国見町	川俣町	飯福島町市	東北道	合計	前年同期
出火件数	計	19	2	7	4	6		5	7	7	3	2	43	69	
	建物	14 10	2 1	6 6		6 3		1 1	4 3	1 1	3 2		23 16	23 17	
	林野									1				1 3	
	車両							1				2	3	4	
	その他	5		1	4			3	3	5			16	39	
焼損棟数	計	24	5	9		10		2	4	1	8		39	28	
	全焼	12	1	7		4			1	1	5		19	6	
	半焼							1	1				2	2	
	部分焼	7	2	1		4					3		10	7	
	ぼや	5	2	1		2		1	2				8	13	
罹災世帯	計	11	3	6		2		1	2		2		16	15	
	全損	6	1	4		1		1			2		9	2	
	半損													3	
	小損	5	2	2		1			2				7	10	
罹災人員		23	5	13		5		3	7		9		42	39	
死傷者	死者	2	1	1				1					3	3	
	傷者	2		2				2	2	1			7	13	
焼損面積	建物床(m ²)	1,137	137	693		307		36	215	177	792		2,357	759	
	建物表(m ²)	85	30			55					7		92	80	
	林野(a)	21				21					1		22	161	
損害額(千円)	計	60,796	14,828	41,547		4,421		1,974	2,158	10,729	30,643	1,800	108,100	33,698	
	建物	60,726	14,758	41,547		4,421		1,767	1,856	2,395	30,633		97,377	32,698	
	林野										10		10		
	車両	70	70					126		300		1,800	2,296	992	
	その他							81	302	8,034			8,417	8	

※ 建物火災のうち右下の数値は住宅火災の件数

火災概況及び比較表

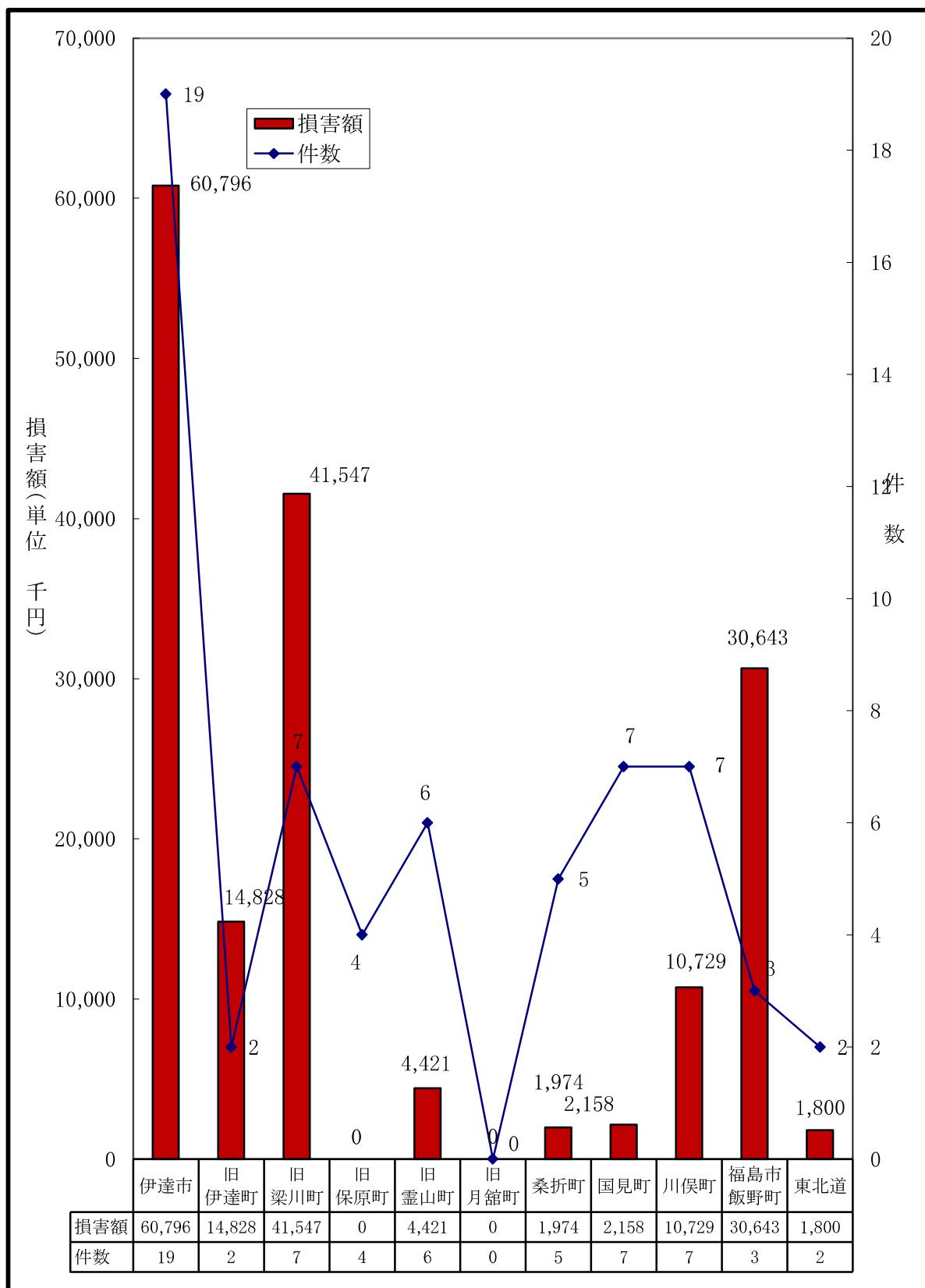
区分		年別	平成26年 (A)	平成25年 (B)	対前年増減数 (A)-(B)=(C)	増減率(C)÷ (B)×100%
火災発生件数	合 計	43	69	△ 26	△ 37.7	
	建 物 火 災	23	23	0	0.0	
	林 野 火 災	1	3	△ 2	△ 66.7	
	車両火災	3	4	△ 1	△ 25.0	
	その他の火災	16	39	△ 23	△ 59.0	
焼損棟数	合 計	39	28	11	39.3	
	全 燃	19	6	13	216.7	
	半 燃	2	2	0	0.0	
	部 分 燃	10	7	3	42.9	
	ぼ や	8	13	△ 5	△ 38.5	
焼損面積	建物(床)m ²	2,357	759	1,598	210.5	
	建物(表)m ²	92	80	12	15.0	
	林 野 a	22	161	△ 139	△ 86.3	
罹災	合 計	19	15	4	26.7	
	全 損	9	2	7	350.0	
	半 損		3	△ 3	△ 100.0	
	小 損	7	10	△ 3	△ 30.0	
	人 員	42	39	3	7.7	
損害額(千円)	合 計	108,100	33,708	74,392	220.7	
	建 物	97,377	32,708	64,669	197.7	
	林 野	10		10	-	
	車両	2,296	992	1,304	131.5	
	そ の 他	8,417	8	8,409	105,112.5	
死傷者	死 者	3	3	0	0.0	
	負 傷 者	7	13	△ 6	△ 46.2	
1日平均損害額(千円)		296	92	204	221.7	
建物火災のみ1件平均損害額		4,234	1,422	2,812	197.7	
建物火災のみ1日平均損害額		267	90	177	196.7	

市町別・月別火災発生状況

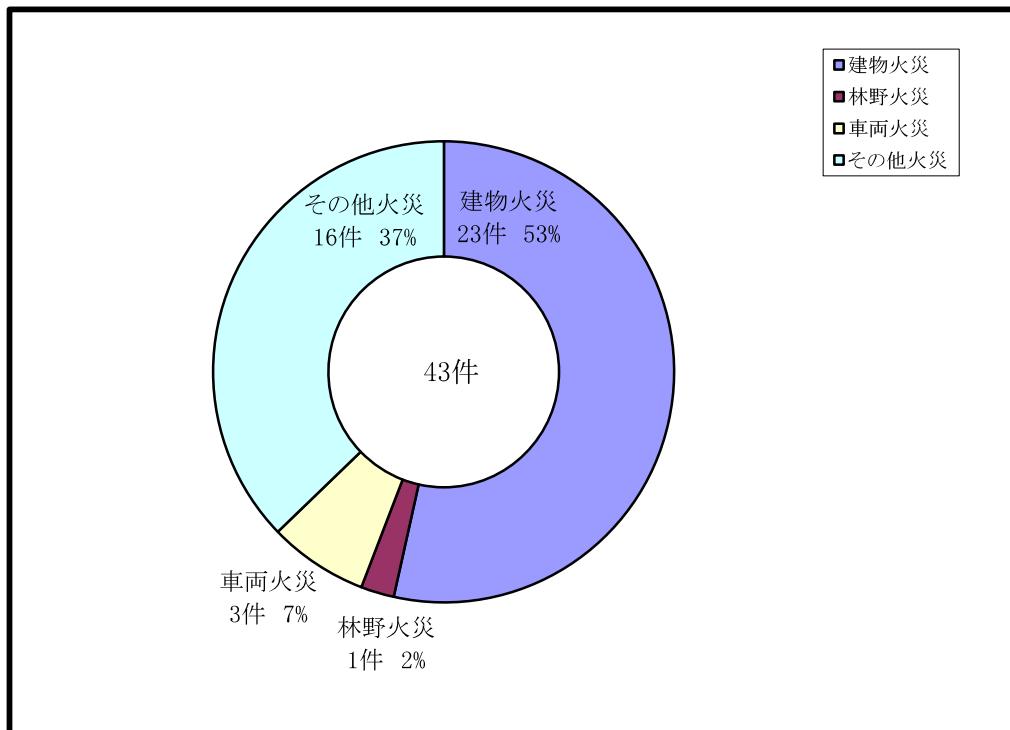
市町別 月別	伊達市						桑折町	国見町	川俣町	飯福野島町市	東北道	合計	前年計	
		旧伊達町	旧梁川町	旧保原町	旧靈山町	旧月館町								
1								1				1	2	1
2	2		1		1								2	1
3	5 (1)	1 (1)	2	1	1		1		1				7 (1)	30 (2)
4	3		1		2		1	1	3				8	10
5	4	1	1	2			1 (1)	2	1	2			10	10
6	1			1			1	1					3	5
7								1					1	2 (1)
8														
9	1				1				1				2	4
10														2
11							1		1		1	3	1	
12	3		2 (1)		1			1		1			5 (1)	3
合計	19	2	7	4	6		5	7	7	3	2	43 (3)		
前年計	51	8	15 (2)	11 (1)	12	5	2	7	7	1	1		69 (3)	
増減数	△ 32	△ 6	△ 8	△ 7	△ 6	△ 5	3			2	1		△ 26	

※ ()内は火災による死者数

火災件数と損害額

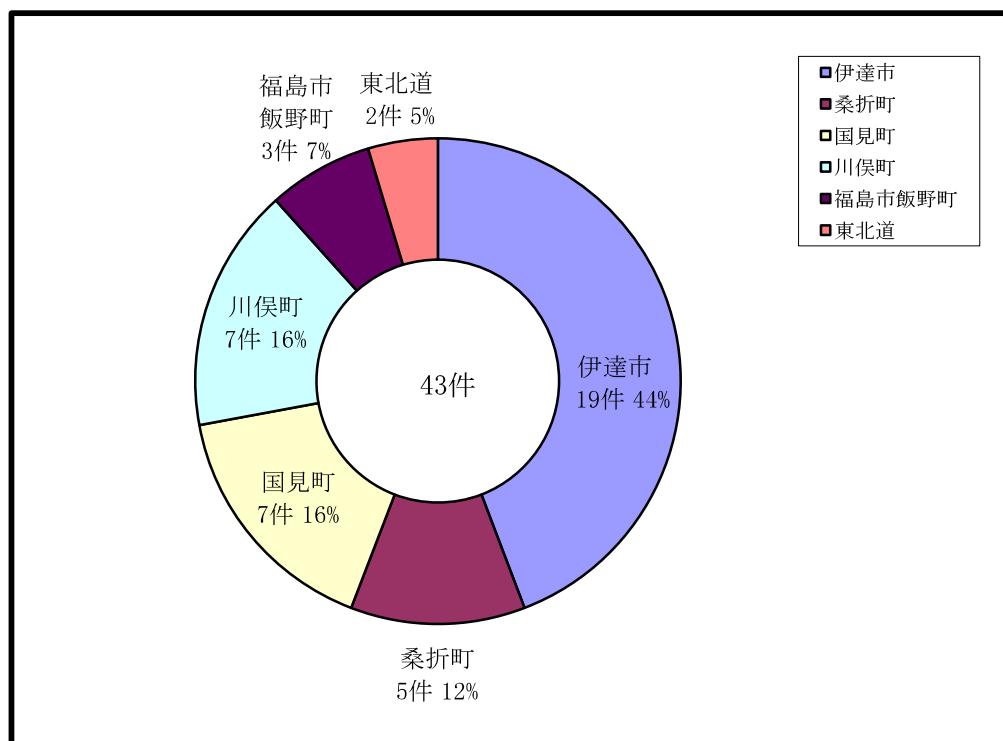


火災種別発生率



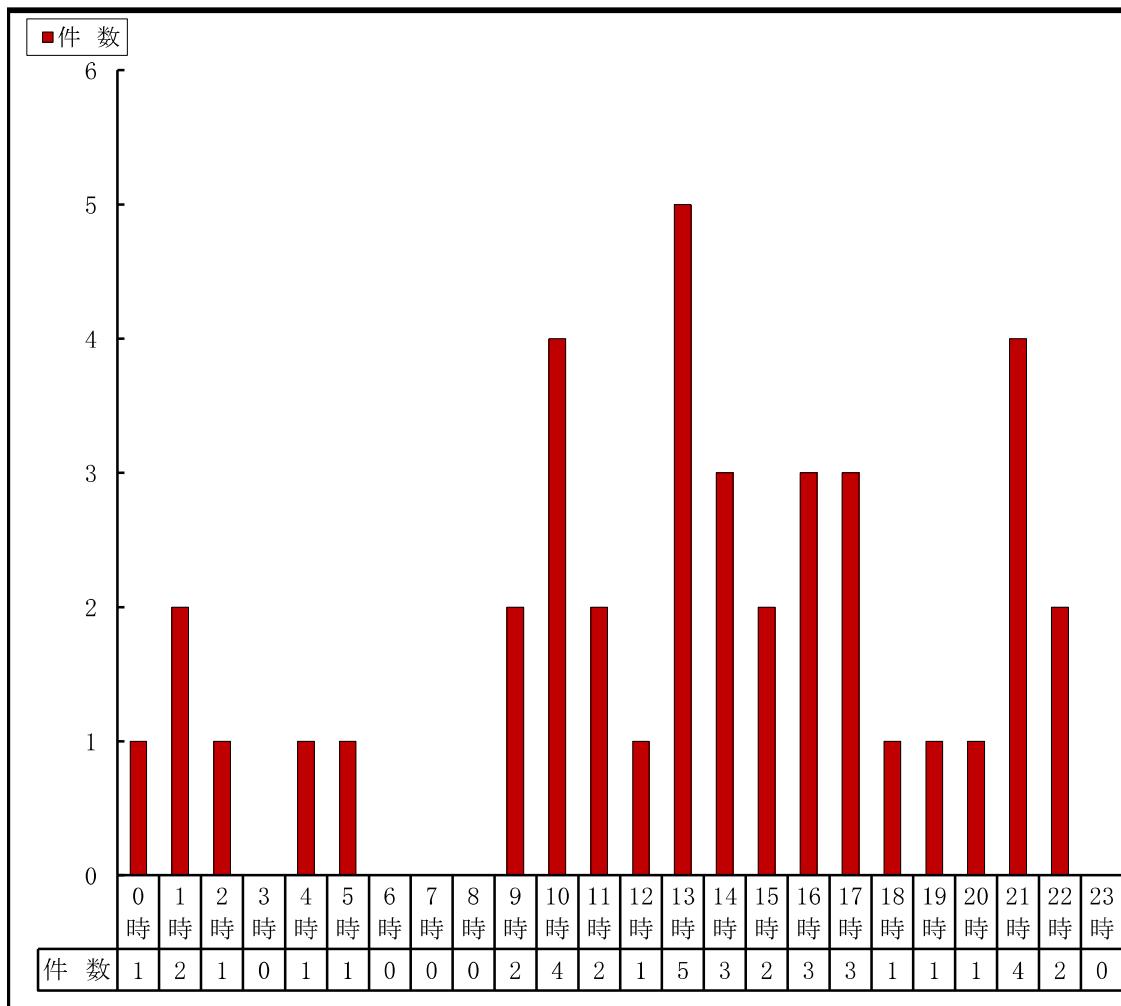
(注)構成比率は表示単位未満四捨五入

市町別火災発生率



(注)構成比率は表示単位未満四捨五入

時間別火災発生状況



覚知方法別出火件数

覚知別	出火件数(件)	構成比(%)
火災報知専用電話(119)	14	33%
火災報知専用電話(携帯)	16	37%
加入電話	3	7%
事後聞知	9	21%
その他	1	2%
合 計	43	100%

(注)構成比は、表示単位未満四捨五入。

出火率の推移

年別 市町別	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
伊達市		4.1	6.2	3.7	4.1	3.4	2.6	4.3	7.809	3.0
旧伊達町	3.7									
旧梁川町	3.8									
旧保原町	4.8									
旧靈山町	7.3									
旧月館町	4.4									
桑折町	2.9	4.4	2.2	5.3	3.7	3.0	3.9	0.8	1.6	4.0
国見町	3.6	3.7	5.6	1.9	7.6	1.9	1.0	2.0	7.0	7.2
川俣町	6.2	4.6	6.1	3.1	4.6	3.1	6	6.1	4.8	5.0
福島市飯野町	4.4	4.5	3.1	3.2	6.5	6.5	5.2	1.7	1.7	5.5
伊達管内	4.6	4.2	5.4	3.7	4.5	3.4	3.2	3.8	6.4	3.9
福島県	4.3	4.6	4.6	4.0	4.3	3.6	4.2	3.4	4.2	3.4
全 国	4.5	4.2	4.3	4.1	4.0	3.7	3.9	3.5	3.8	3.4

(注)1 桑折町、国見町は東北自動車道における火災を除く。

2 出火率とは、人口1万人あたりの出火件数をいう。

3 人口は、各市町4月1日現在の推計人口。

火災による死傷者の推移

(単位：人)

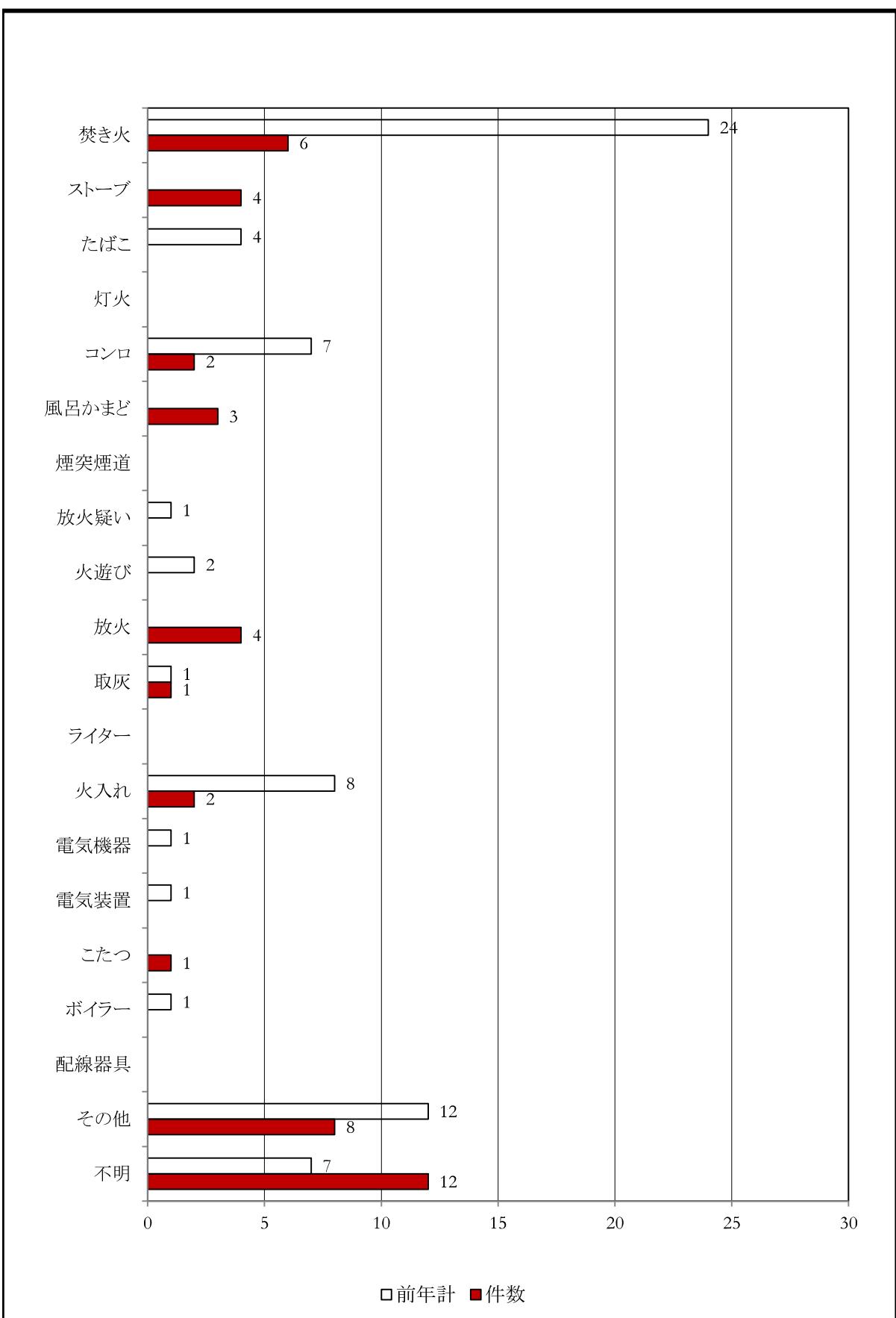
年別 区分	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
死 者	1	3	1	2	5	1	3	3	3	3
放火自殺		3					2	1	1	1
負傷者	6	4	6	5	6	9	5	7	13	7

過去5年間における各市町火災発生状況

(損害額 単位:千円)

市町別	区分	年別						合 計
		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年		
伊達市	出火件数	23	17	28	51	19	138	
	損害額	68,857	46,001	139,355	13,692	60,796	328,701	
旧伊達町	出火件数	9	1	4	8	2	24	
	損害額	15,680	5	3,097	6,609	14,828	40,219	
旧梁川町	出火件数	5	9	7	15	7	43	
	損害額	19,277	42,300	14,836	4,587	41,547	122,547	
旧保原町	出火件数	3	3	10	11	4	31	
	損害額	8,011	1,839	116,041	969		126,860	
旧霊山町	出火件数	3	1	4	12	6	26	
	損害額	9,835	1,857	567	833	4,421	17,513	
旧月館町	出火件数	3	3	3	5		14	
	損害額	16,054		4,814	694		21,562	
桑折町	出火件数	4	5	1	2	5	17	
	損害額	44,813	596	5	412	1,974	47,800	
国見町	出火件数	2	1	2	7	7	19	
	損害額	105	9	8,897	2,075	2,158	13,244	
川俣町	出火件数	5	9	9	7	7	37	
	損害額	13,588	46,262	5,431	17,249	10,729	93,259	
福島市 飯野町	出火件数	4	3	1	1	3	12	
	損害額	16,154	4,403	23		30,643	51,223	
東北道	出火件数	1	1		1	2	5	
	損害額	200			270	1,800	2,270	
合 計	出火件数	39	36	41	69	43	228	
	損害額	143,717	97,271	153,711	33,698	108,100	536,497	

原因別火災発生状況



気象別出火件数調(湿度)

月別	湿度	40%以下	40%を越え 50%以下	50%を越え 60%以下	60%を越え 70%以下	70%を越え 80%以下	80%を越え 90%以下	90%越え	計
1月					1			1	2
2月				2					2
3月		1	2	1			1	2	7
4月	6	1			1				8
5月	2	2		2	3	1			10
6月						1	2		3
7月				1					1
8月									
9月				1		1			2
10月									
11月			1		1	1	1		3
12月		1	1		1	1	1	1	5
計	8	5	6	6	6	6	6	6	43

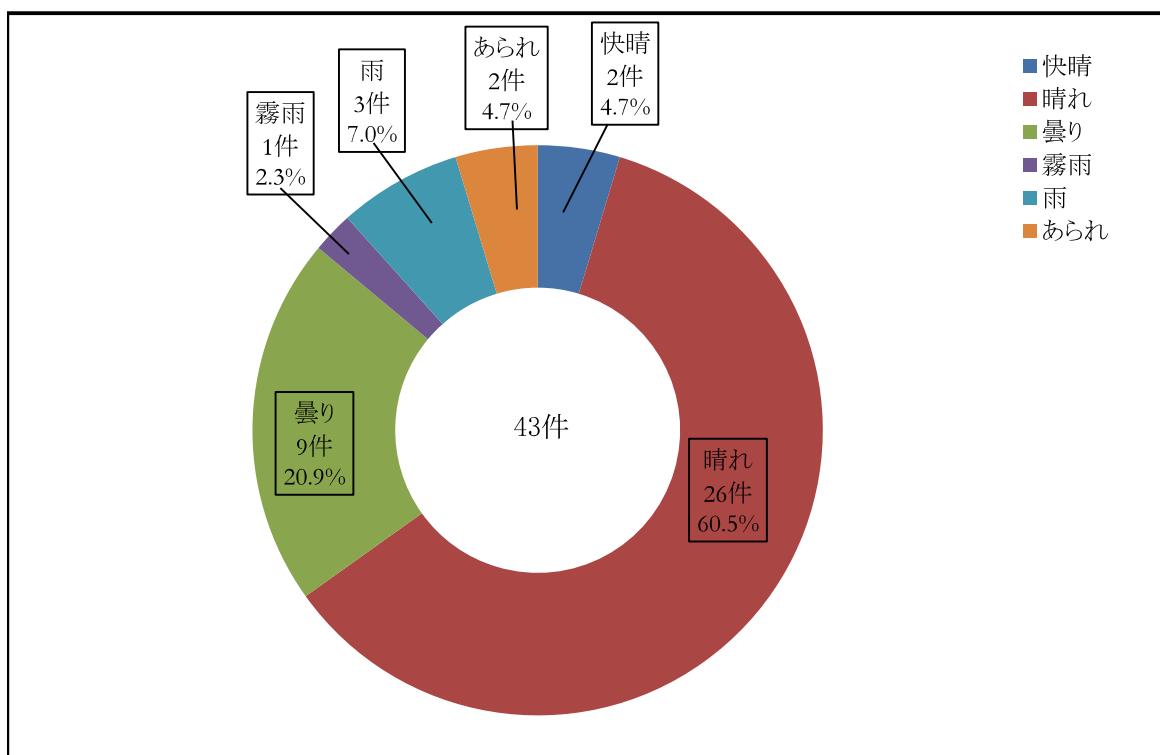
気象別出火件数調(風速)

月別	風速	1m 以下	2m	3m	4m	5m	6m	7m	8m	9m	10m	11m	12m 以上	計
1月	2													2
2月	2													2
3月	1	3	1			1	1							7
4月	1	2	2	1	1				1					8
5月	3	2	1	1	2		1							10
6月	2	1												3
7月				1										1
8月														
9月				1	1									2
10月														
11月	2	1												3
12月	1	1	1	1			1							5
計	14	10	5	5	4	1	3		1					43

曜日別出火件数調

曜日 月別	日	月	火	水	木	金	土	計
1月	1				1			2
2月			1			1		2
3月	1		1	1	2	1	1	7
4月	2	2	2		1		1	8
5月	2	3	1		2	2		10
6月		1					2	3
7月				1				1
8月								
9月	1					1		2
10月								
11月		1			1	1		3
12月	2		1		1		1	5
計	9	7	6	2	8	6	5	43

気象別出火件数調(天候)



(注) 構成比率は表示単位未満四捨五入。

全国及び福島県の火災記録(10年間)

区分 年・国・県別		火災件数	罹災世帯数	焼損面積		損害額 (千円)	死者	傷者
				建物(m ²)	林野(a)			
平成17年	全国	57,460	29,952	1,502,781	111,585	130,098,605	2,195	8,850
	福島県	915	451	42,892	7,563	3,721,132	57	125
平成18年	全国	53,276	29,144	1,386,092	82,925	114,228,906	2,067	8,541
	福島県	959	472	34,756	1,262	2,279,636	56	146
平成19年	全国	54,582	28,686	1,387,149	71,714	126,161,916	2,005	8,490
	福島県	952	440	42,403	2,038	2,852,147	52	138
平成20年	全国	52,394	26,805	1,317,231	83,916	108,416,810	1,969	7,998
	福島県	838	412	43,976	1,077	2,701,146	43	120
平成21年	全国	51,139	25,847	1,224,884	106,400	93,124,477	1,877	7,654
	福島県	882	395	35,745	1,979	2,004,232	47	134
平成22年	全国	46,620	23,865	1,187,415	75,549	101,762,173	1,738	7,305
	福島県	730	386	34,610	1,650	1,438,357	43	141
平成23年	全国	50,006	24,491	1,395,112	207,093	112,835,173	1,766	7,286
	福島県	851	355	36,209	2,893	4,968,193	41	122
平成24年	全国	44,189	22,422	1,138,178	37,187	89,698,625	1,721	6,826
	福島県	671	356	37,328	1,007	1,817,794	45	124
平成25年	全国	48,095	24,491	1,183,724	97,079	90,782,394	1,625	6,858
	福島県	823	394	33,869	3,390	1,729,785	32	136
平成26年	全国	43,632	20,557	1,610,249	125,600	79,333,318	1,675	6,527
	福島県	678	255	26,347	3,944	1,339,870	43	107

危 険 物 統 計

平成27年度危険物安全週間推進標語

『無事故へと 気持ち集中 はっけよい』

市町別危険物製造所等

(平成27年3月31日現在)

製造所等 市町名	合 計	貯 蔵 所						取 扱 所			
		小 計	屋 内 貯 藏 所	屋 外 タン ク貯 藏 所	屋 内 タン ク貯 藏 所	地 下 タン ク貯 藏 所	移 動 タン ク貯 藏 所	屋 外 貯 藏 所	小 計	給 油 取 扱 所	
伊達市	290	180	27	30	4	71	46	2	110	51	59
	283	176	26	29	4	70	46	1	107	49	58
旧伊達町	75	52	7	11	3	17	14		23	12	11
	74	51	7	11	3	16	14		23	12	11
旧梁川町	86	55	7	10	1	22	15		31	12	19
	85	54	7	9	1	22	15		31	12	19
旧保原町	83	42	6	5		23	8		41	20	21
	79	41	5	5		23	8		38	18	20
旧霊山町	33	22	4	4		3	9	2	11	5	6
	32	21	4	4		3	9	1	11	5	6
旧月館町	13	9	3			6			4	2	2
	13	9	3			6			4	2	2
桑折町	64	42	6	5		23	8		22	8	14
	63	41	6	5		22	8		22	8	14
国見町	43	25	3	3	1	11	7		18	9	9
	43	25	3	3	1	11	7		18	9	9
川俣町	86	59	12	5	1	17	21	3	27	10	17
	84	57	12	5	1	17	21	1	27	10	17
福島市飯野町	14	3	1			2			11	6	5
	14	3	1			2			11	6	5
合 計	497	309	49	43	6	124	82	5	188	84	104
	487	302	48	42	6	122	82	2	185	82	103

(注) 下段は、完成検査済証交付施設数

倍数別危険物製造所等(完成検査済証交付施設)

(平成27年3月31日現在)

製造所等 市町名	合 計	貯 蔵 所							取 扱 所		
		小 屋 内 貯 藏 所	屋 外 タ ン ク 貯 藏 所	屋 内 タ ン ク 貯 藏 所	地 下 タ ン ク 貯 藏 所	移 動 タ ン ク 貯 藏 所	屋 外 貯 藏 所	小 給 油 取 扱 所 計	給 油 取 扱 所	一 般 取 扱 所	
5 倍 以 下	246	201	28	13	5	74	79	2	45	2	43
5 倍 をこえ 10 倍 以下	96	55	16	10	1	27	1		41	2	39
10 倍 をこえ 50 倍 以下	80	38	3	18		16	1		42	22	20
50 倍 をこえ 100 倍 以下	23	6	1	1		3	1		17	16	1
100 倍 をこえ	42	2				2			40	40	
合 計	487	302	48	42	6	122	82	2	185	82	103

容量別屋外タンク貯蔵所(完成検査済証交付施設)

(平成27年3月31日現在)

容 量 (リットル)	タ ン ク 数	割 合 (%)
10, 000未満	11	26.2%
10, 000以上 20, 000未満	14	33.3%
20, 000以上 30, 000未満	7	16.7%
30, 000以上 40, 000未満	3	7.1%
40, 000以上 50, 000未満	4	9.5%
50, 000以上	3	7.1%
合 計	42	100%

予防統計

火のふしまつ
あぶない!!!



平成26年度 伊達地方消防組合消防本部 防火ポスターコンクール最優秀作品
(桑折町立釀芳小学校3年 斎藤真子さんの作品です。)

市町別・工事種別同意処理状況

(平成26年度)

種別 市町別	新築	増築	改築	用途 変更	移転	大規模 模様替	大規模 修繕	その他	計
伊達市	54	41		1				1	97
桑折町	8	14							22
国見町	15	7		1					23
川俣町	10	13		1					24
福島市飯野町	2	4							6
計	89	79		3				1	172

市町別・月別同意処理状況

(平成26年度)

月別 市町別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
伊達市	13	13	11	5	6	7	7	9	9	3	5	9	97
桑折町	5	1	3	2	5	2	3				1		22
国見町	4		3		1			2	2	4	4	3	23
川俣町		2	2	8	1		1	3		1	4	2	24
福島市飯野町	1	1			1	3							6
計	23	17	19	15	14	12	11	14	11	8	14	14	172

市町別・用途別建築同意処理状況

(平成26年度)

		市町別	伊 達 市	桑 折 町	国 見 町	川 俣 町	飯福 野島 町市	計
防火対象物								
(1)	イ 剧場、映画館等							
	ロ 公会堂、集会場		1		1		1	3
(2)	イ キャバレー、ナイトクラブ							
	ロ 遊技場、ダンスホール		2			1		3
	ハ 性風俗関連特殊営業を営む店舗等							
	ニ カラオケボックス等							
(3)	イ 待合、料理店の類							
	ロ 飲食店		1					1
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類		3	1			1	5
(5)	イ 旅館、ホテル、宿泊所							
	ロ 寄宿舎、下宿、共同住宅		2					2
(6)	イ 病院、診療所、助産所						1	1
	ロ 老人短期入所施設、養護老人ホーム等		3				1	4
	ハ 老人デイサービスセンター等		1	1				
	ニ 幼稚園、盲ろう学校の類							
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類		2					2
(8)	図書館、博物館の類							
(9)	イ 公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類							
	ロ イ、以外の公衆浴場							
(10)	車両の停車場の類							
(11)	神社、寺院、教会の類							
(12)	イ 工場、作業場		4		2	1		7
	ロ テレビスタジオ等							
(13)	イ 自動車車庫、駐車場							
	ロ 飛行機、回転翼航空機の格納庫							
(14)	倉庫		4					4
(15)	前各項に該当しない事業場		4	2	1	4		11
(16)	イ (1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)		5	1				6
	ロ 上記以外の(複)							
住 宅		80	5	12	10	2	109	
そ の 他		53	12	8	17		90	
合 計		165	22	24	33	6	250	

(注) 1. (複) は、複合用途防火対象物を示す。

2. (1)～(16)までの調査対象は、延べ面積150平方メートル以上。

防 火 対 象 物 施 設 数

(平成27年3月31日現在)

		市町別	伊達市	桑折町	国見町	川俣町	飯福野島町市	計
防火対象物								
(1)	イ	劇場、映画館等	1			1		2
	ロ	公会堂、集会場	56	6	6	19	5	92
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ						
	ロ	遊技場、ダンスホール	5			1	1	7
(3)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等						
	ニ	カラオケボックス等	2					2
(4)	イ	待合、料理店の類	3	3		3	1	10
	ロ	飲食店	15		3	1		19
(5)	イ	百貨店、マーケット、店舗の類	67	12	11	19	5	114
(6)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	12		1	5	2	20
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	222	28	15	38		303
(7)	イ	病院、診療所、助産所	37	3	2	6	3	51
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	16	7		5	1	29
(8)	ハ	老人デイサービスセンター等	33	6	2	4	3	48
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	15	6	1	5	3	30
(9)	イ	小学校、中学校、高等学校、大学の類	74	12	4	30	10	130
(10)	イ	図書館、博物館の類	3	1		2		6
(11)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類						
	ロ	イ、以外の公衆浴場						
(12)	イ	車両の停車場の類						
(13)	イ	神社、寺院、教会の類	39	10	7	5	2	63
(14)	イ	工場、作業場	252	51	34	84	50	471
	ロ	テレビスタジオ等						
(15)	イ	自動車車庫、駐車場	11	1	1			13
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫						
(16)	イ	倉庫	177	34	20	25	15	271
(17)	イ	前各項に該当しない事業場	170	41	61	42	14	328
(18)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	61	7	12	18	4	102
	ロ	上記以外の(複)	22	2	2	8	6	40
(19)	イ	重要文化財	1	1	1			3
合			計	1,294	231	183	321	125
2,154								

(注) 1. (複) は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

防火対象物の階層別・面積別調

(平成27年3月31日現在)

		階 層 別								面積別(m ²)										
		一階	二階	三階	四階	五階	六階	七階以上	計	150未満	150	300	500	700	1,000	6,000	10,000	以上	計	
(1)	イ	劇場、映画館等		2					2								2		2	
	ロ	公会堂、集会場	55	30	6	1			92		26	31	13	10	12				92	
(2)	イ	キャバレー、ナイトクラブ																		
	ロ	遊技場、ダンスホール	4	3					7		2	2	1	1	1				7	
(3)	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等																		
	ニ	カラオケボックス等	1	1					2			2							2	
(4)	イ	待合、料理店の類	1	9					10		3	4	1	2					10	
	ロ	飲食店	10	7	1	1			19		12	3	3	1					19	
(5)	(4) 百貨店、マーケット、店舗の類		83	30	1				114		37	19	13	7	36	2			114	
(5)	イ	旅館、ホテル、宿泊所	3	12	3		1		1	20		3	3	4	5	5				20
	ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	8	227	45	9	14		303		138	97	21	12	35					303
(6)	イ	病院、診療所、助産所	13	29	2	4	2	1	51		15	14	6	4	9	1	2		51	
	ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	8	18	3				29		4	5	4	2	13		1		29	
(6)	ハ	老人デイサービスセンター等	31	16	1				48		15	12	8	7	6				48	
	ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	24	6					30		9	12	5	2	2				30	
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類		51	40	31	8			130		12	12	12	23	62	6	3		130	
(8)	図書館、博物館の類		2	4					6			3	1			2			6	
(9)	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類																		
	ロ	イ、以外の公衆浴場																		
(10)	車両の停車場の類																			
(11)	神社、寺院、教会の類		29	34					63		14	24	14	8	3				63	
(12)	イ	工場、作業場	251	211	9				471		78	97	68	69	138	8	13		471	
	ロ	テレビスタジオ等																		
(13)	イ	自動車車庫、駐車場	11	2					13		9	3	1						13	
	ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫																		
(14)	倉庫		202	65	4				271		81	70	38	38	41	3			271	
(15)	前各項に該当しない事業場		125	159	37	3	3	1	328		67	97	59	30	73	1	1		328	
(16)	イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	26	51	20	3	1		1	102		22	32	19	10	18	1		102	
	ロ	上記以外の(複)	6	27	6			1		40		5	14	12	6	3			40	
(17)	重要文化財		1	1	1				3	1			2						3	
合 計		945	984	170	29	21	3	2	2154	1	552	556	305	237	461	22	20		2154	

(注) 1. (複) は、複合用途防火対象物を示す。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

甲種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成27年3月31日現在)

区分		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
防火対象物													
(1) イ	劇場、映画館等							1	1			1	1
(1) ロ	公会堂、集会場	43	41	6	5	3	1	7	7	1		60	54
(2) イ	キャバレー、ナイトクラブ												
(2) ロ	遊技場、ダンスホール	5	4					1	1	1	1	7	6
(2) ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
(2) ニ	カラオケボックス等	2	2									2	2
(3) イ	待合、料理店の類	2	2	2	2			1	1	1	1	6	6
(3) ロ	飲食店	5	3									5	3
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	42	38	7	7	6	6	15	15	1	1	71	67
(5) イ	旅館、ホテル、宿泊所	10	10			1	1	3	3	1	1	15	15
(5) ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	12	11	1	1	1	1	6	4			20	17
(6) イ	病院、診療所、助産所	13	13			1	1	1	1	2	2	17	17
(6) ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等	13	11	7	6			6	6	1	1	27	24
(6) ハ	老人デイサービスセンター等	19	19	3	3	1	1	2	2	2	2	27	27
(6) ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	12	12	3	3	1	1	3	3	2	2	21	21
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	30	29	6	6	2	2	8	8	5	5	51	50
(8)	図書館、博物館の類	2	2					1	1			3	3
(9) イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
(9) ロ	イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の停車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類	16	11	2	2	2	1			1		21	14
(12) イ	工場、作業場	30	29	8	8	6	5	9	8	2	2	55	52
(12) ロ	テレビスタジオ等												
(13) イ	自動車車庫、駐車場												
(13) ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	2	2	1	1							3	3
(15)	前各項に該当しない事業場	45	44	6	5	6	6	3	3	3	3	63	61
(16) イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	48	38	2	1	10	10	10	8	3	3	73	60
(16) ロ	上記以外の(複)	4	4	2	2			1	1			7	7
(17)	重要文化財												
合 計		355	325	56	52	40	36	78	73	26	24	555	510

(注) 1. (複) は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

乙種防火対象物防火管理者選任届出状況

(平成27年3月31日現在)

区分		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福野島町市		計			
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B		
防火対象物															
(1) イ	劇場、映画館等														
(1) ロ	公会堂、集会場	9	9			3	1	11	10	3	3	26	23		
(2) イ	キャバレー、ナイトクラブ														
(2) ロ	遊技場、ダンスホール	1	1									1	1		
(2) ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等														
(2) ニ	カラオケボックス等														
(3) イ	待合、料理店の類	1	1					1	1			2	2		
(3) ロ	飲食店	6	6	1	1	1	1	1	1			9	9		
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	3	2	1	1			1	1	1		6	4		
(5) イ	旅館、ホテル、宿泊所														
(5) ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	1	1					2	1			3	2		
(6) イ	病院、診療所、助産所														
(6) ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム等														
(6) ハ	老人デイサービスセンター等					1	1	1	1			2	2		
(6) ニ	幼稚園、盲ろう学校の類			1	1							1	1		
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類														
(8)	図書館、博物館の類							1	1			1	1		
(9) イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類														
(9) ロ	イ、以外の公衆浴場														
(10)	車両の停車場の類														
(11)	神社、寺院、教会の類			3	3	1	1	1	1			5	4		
(12) イ	工場、作業場														
(12) ロ	テレビスタジオ等														
(13) イ	自動車車庫、駐車場														
(13) ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫														
(14)	倉庫														
(15)	前各項に該当しない事業場	3	3	1	1			4	4			8	8		
(16) イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)							1	1			1	1		
(16) ロ	上記以外の(複)														
(17)	重要文化財														
合		計		24	23	7	7	6	4	24	21	4	3	65	58

(注) 1. (複) は、複合用途防火対象物を示す。

2. Aは選任を必要とする対象物数、Bは選任している対象物数。

防火対象物立入検査実施状況

(平成27年3月31日現在)

区分 防火対象物		伊達市		桑折町		国見町		川俣町		飯福野島町市		計	
		A	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A	B
(1)イ	劇場、映画館等	1	1					1	1			2	2
(1)ロ	公会堂、集会場	55	44	6		5		19	18	5	4	90	66
(2)イ	キャバレー、ナイトクラブ												
(2)ロ	遊技場、ダンスホール	6	3					1		1	1	8	4
(2)ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等												
(2)ニ	カラオケボックス等	2	2									2	2
(3)イ	待合、料理店の類	2	1	3				3	3	1	1	9	5
(3)ロ	飲食店	15	9			3		1	1			19	10
(4)	百貨店、マーケット、店舗の類	64	38	12	9	11	5	19	17	5	5	111	74
(5)イ	旅館、ホテル、宿泊所	11	6			1		5	2	2	2	19	10
(5)ロ	寄宿舎、下宿、共同住宅	206	14	28	1	15		37				286	15
(6)イ	病院、診療所、助産所	37	13	3	2	2	1	6	5	3	3	51	24
(6)ロ	老人短期入所施設、養護老人ホーム	17	16	7	3			6	6	1	1	31	26
(6)ハ	老人デイサービスセンター等	36	20	6	5	2	2	4	5	3	3	51	35
(6)ニ	幼稚園、盲ろう学校の類	15	11	6	1	2		5	5	3	3	31	20
(7)	小学校、中学校、高等学校、大学の類	68	40	12	5	4	2	30	30	10	10	124	87
(8)	図書館、博物館の類	3	2	1	1			2	2			6	5
(9)イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場、熱気浴場の類												
(9)ロ	イ、以外の公衆浴場												
(10)	車両の停車場の類												
(11)	神社、寺院、教会の類	38	22	10	8	7	4	5	1	2	1	62	36
(12)イ	工場、作業場	236	108	51	27	34		84	61	50	26	455	222
(12)ロ	テレビスタジオ等												
(13)イ	自動車車庫、駐車場	5	1	1	1	1						7	2
(13)ロ	飛行機、回転翼航空機の格納庫												
(14)	倉庫	166	58	35	14	20	1	25	20	15	13	261	106
(15)	前各項に該当しない事業場	162	84	41	8	60	35	42	22	14	5	319	154
(16)イ	(1)～(4)、(5)イ、(6)、(9)イが存する(複)	63	34	7	1	12	4	18	20	4	4	104	63
(16)ロ	上記以外の(複)	23	8	2		2		8	1	6	4	41	13
(17)	重要文化財			1	1	1	1					2	2
合 計		1,231	535	232	87	182	55	321	220	125	86	2,091	983

(注) 1. Aは防火対象物数、Bは立入検査実施数。

2. 調査対象は、(17)項以外は延べ面積150平方メートル以上。

消防用設備等の届出・検査済証件数

(平成26年度)

区分	設備名	消	屋	ス	ハ	粉	屋	動	漏	自	非	避	誘	消	連	連	
		火	内	プ	ロゲン	末	外	力	電	動	常	難	導	結	結	送	
	計	火	消	リ	化	消	消	消	火	火	警	警	導	防	散	水	
	器	器	設	ク	物	火	栓	消	火	災	報	報	導	用	水	設	
	備	備	設	ラ	消	設	設	設	火	災	警	報	標	水	備	備	
				ー	化	火	栓	消	火	災	報	設	識				
着工届出	83	1	9	3			3		49		2		8	3	5		
設置届出	231	63	7	4			3		66		4	12	6	2	63	1	
検査済証	227	62	7	4			3		66		4	12	5	2	61	1	

火災予防条例等に基づく届出状況

(平成26年度)

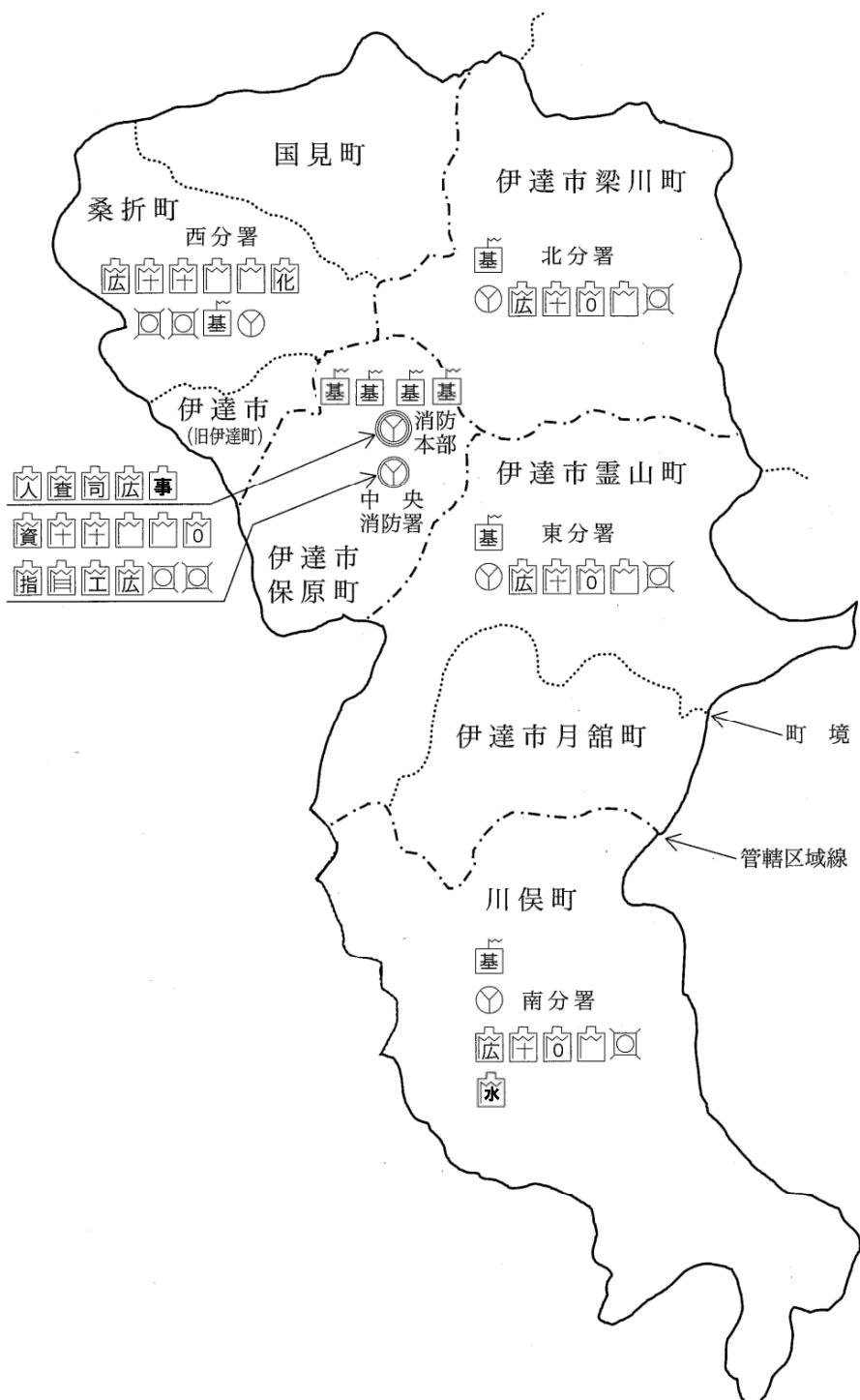
所属 事項		中央	東	西	南	北	計
◎施行規則	消防計画	53	33	46	67	42	241
◎危政令	圧縮アセチレン			1		5	6
	無水硫酸						
	液化石油ガス	10	2	15	2		29
	生石灰						
	毒物						
○火災予防条例							
使 用 開 始		16	8	14	17	10	65
炉				1			1
厨 房 設 備							
温 風 暖 房 機							
ボイラー		1	2				3
給湯設備							
乾燥設備		1			23	2	26
サウナ							
ヒートポンプ冷暖房機							
火花を生ずる設備					1		1
放電加工機							
変電設備	6	3	12	7	6	34	
発電設備	2	1	5	3	3	14	
蓄電池設備			8	7	1	16	
燃料電池発電設備							
ネオングラス管							
水素気球							
まぎらわしい煙	195	53	168	78	208	702	
煙火打上げ	38	25	41	102	23	229	
催物			1	33		34	
断滅水	1			3		4	
道 路 工 事	61	29	90	50	55	285	
指 定 洞 道 等							
少 量 危 險 物	3	21	9	3	8	44	
指 定 可 燃 物			1			1	
タンク水張検査							
計	385	177	414	396	363	1,735	

警 防



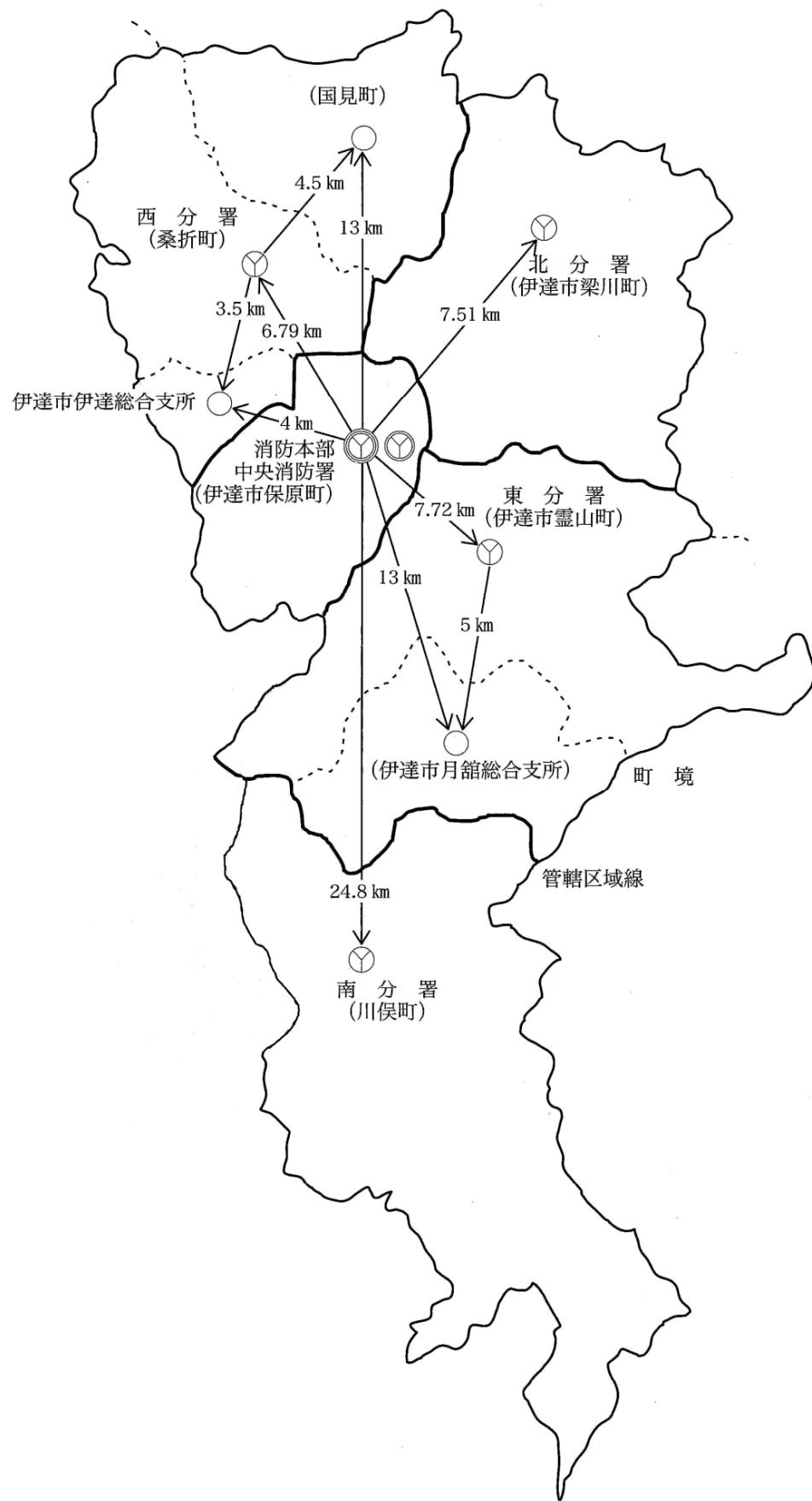
伊達地方消防組合消防本部・消防署(分署)及び消防機械配置図

(平成 27 年 4 月 1 日現在)



凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
	無線基地局
	消防ポンプ自動車 (無線付)
	はしご付消防自動車 (無線付)
	化学消防自動車 (無線付)
	水槽付消防ポンプ 自動車(無線付)
	救助工作車 (無線付)
	救急自動車 (無線付)
	司令車 (無線付)
	事務連絡車
	広報連絡車 (無線付)
	人員資器材搬送車 (無線付)
	指揮兼照明車 (無線付)
	資機材搬送車 (無線付)
	小型動力ポンプ
	小型動力ポンプ付 水槽車
	査察車 (無線付)

消防本部(中央消防署)から分署・各市町間の距離



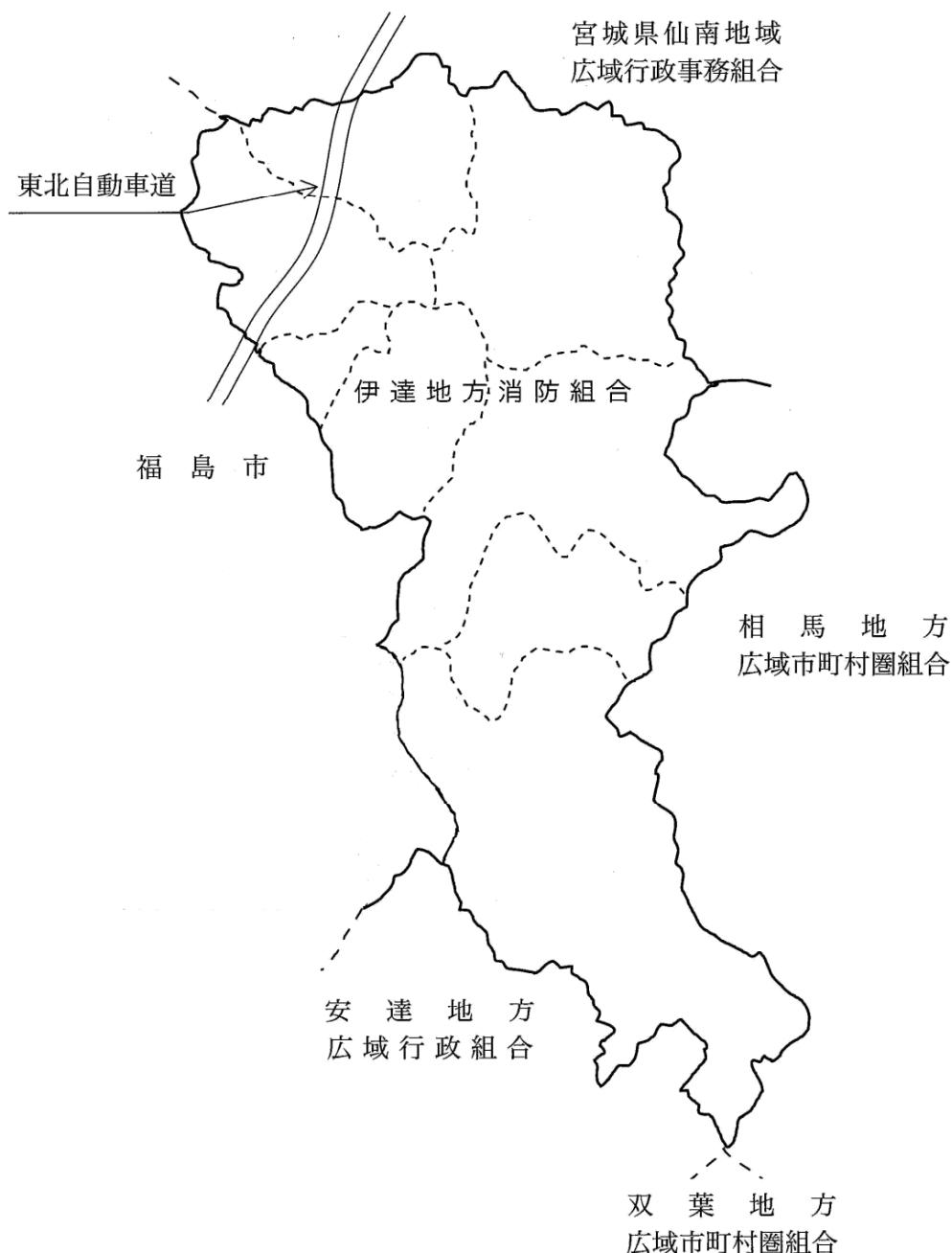
	分署	距離
(中央消防署)	東分署	7.72km
	西分署	6.79km
	南分署	24.80km
	北分署	7.51km

凡 例	
	消防本部
	消防署
	分署
-----	町境
=====	管轄区域線

相 互 応 援 協 定

(火災・救急その他災害相互応援協定)

市町村等名	締結年月日	相互応援協定の内容
福 島 市	平成 27 年 4 月 1 日	火災・救急・その他の災害
相馬地方広域市町村圏組合	昭和 48 年 9 月 1 日	〃
安達地方広域行政組合	昭和 49 年 2 月 1 日	〃
宮城県仙南地域広域行政事務組合	昭和 50 年 4 月 1 日	〃 (東北自動車道を含む。)
双葉地方広域市町村圏組合	昭和 58 年 9 月 1 日	〃
東北自動車道 1 市 5 組合	平成 2 年 4 月 1 日	東北自動車道上の火災・救急その他の災害
福島県広域消防相互応援協定	平成 9 年 12 月 26 日	福島県内 12 消防本部 大規模特殊災害
火災原因調査に係る相互応援協定	平成 11 年 12 月 27 日	福島県内 12 消防本部 火災原因調査



現勢消防力調

(平成27年4月1日現在)

面 積	474km ²	消防機械	消防ポンプ自動車	7	消防機械	団本部	4
人 口	100,235		水槽付消防ポンプ自動車	4		分団数	39
世帯数	35,794		はしご付消防自動車	1		団員数	2430
消防本部	1		化学消防ポンプ自動車	1		消防ポンプ自動車	35
消防署	1		小型動力ポンプ	9		水槽付消防ポンプ自動車	1
分署	4		救助工作車	1		小型動力ポンプ	101
人員	150		高規格救急自動車	6		小型動力ポンプ積載車	125
			救急車	1			
			司令車	1			
			防火広報車	1			
			查察車・広報連絡車	6			
			小型動力ポンプ付水槽車	1			
			人員資器材搬送車	1			
			事務連絡車	1			
			指揮兼照明車	1			
			資機材搬送車	1			

消防水利現状調

(平成27年4月1日現在)

区分 町別	防 火 水 そ う			消火栓	その他	合計
	20m ³	40m ³	60m ³			
伊達市	251	323	26	581	97	1,278
桑折町	42	99		200		341
国見町	61	53	8	135	5	262
川俣町	137	15	1	151		304
合 計	491	490	35	1,067	102	2,185

消防車両等の現勢調

(平成27年4月1日現在)

所属区分	種 別	車両番号	車 名	年 式	総排氣量 (cc)	ポンプ種別等		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
消防本部	司令車	す 4881	スバルレガシィB4	21	1,990			21. 2.20	6.2
	査察車	す 8721	ニッサンADバン	25	1,490			25.12.17	1.4
	人員資器材搬送車	さ 6988	トヨタハイエースコミューター	14	2,980			14. 2. 6	13.2
	事務連絡車	そ 4030	トヨタプリウスα	26	1,790			26.1.24	1.3
	防火広報車	す 3759	トヨタハイエースバン	19	2,490			19. 8.30	7.8
中央	救急自動車	す 5429	トヨタハイメディック	21	2,690	高規格		21.12.16	5.4
	広報連絡車	す 8722	ニッサンADバン	25	1,490			25.12.17	1.4
	救急自動車	す 9314	トヨタハイメディック	9	3,370	高規格		9.12.18	17.4
	消防ポンプ自動車	す 7234	いすゞエルフ	8	4,570	モリタ 高压2段バランスタービン	A-2	8.10.14	18.6
	消防ポンプ自動車	す 6952	いすゞエルフ	24	2,990	モリタ 高压2段バランスタービン	A-2	24.2.14	3.2
消防署	水槽付消防ポンプ自動車	は 829	日野レンジャー	24	6,400	モリタ 無給油式ピストン真空ポンプ	A-2	24.2.14	3.2
	救助工作車	は 121	いすゞフォワード	13	8,220			13. 1.10	14.3
	はしご付消防自動車	は 764	日野プロフィア	23	8,860	24m級		23. 3. 8	4.1
	指揮兼照明車	す 1975	トヨタハイエースバン	17	2,490			17.10.31	9.6
	資機材搬送車	す 5430	トヨタダイナ	21	4,000			21.12.16	5.4
防署	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	17	182	シバウラ 1段タービン	C-1	17. 5.19	9.11
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21A	24	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	24.2.14	3.2
	林野火災高压ポンプ		ウォータールート 350NS一式	62	134			62.5.13	27.1

所属区分	種 別	車両番号	車 名	年 式	総排氣量 (cc)	ポンプ種別		購入年月日	経過年数
						ポンプ型式	級別		
東 分 署	広報連絡車	す 8723	ニッサン ADバン	25	1,490			25.12.17	1.4
	救急自動車	す 7865	トヨタ ハイメディック	25	2,690	高規格		25.1.8	2.3
	消防ポンプ自動車	す 4875	いすゞ エルフ	21	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21. 2.25	6.2
	水槽付消防ポンプ自動車	せ 1318	いすゞ フォワード	10	8,200	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	10.10.28	16.6
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21.2.17	6.2
西 分 署	広報連絡車	さ 6618	ニッサン ADバン	13	1,490			13.11.12	13.5
	救急自動車	す 7063	トヨタ ハイメディック	24	2,690	高規格		24.3.28	3.1
	救急自動車	さ 8676	トヨタ アントラージュ	15	3,370			15. 3.26	12.1
	消防ポンプ自動車	す 8736	いすゞ エルフ	25	2,990	モリタ 1段ボリュート式ポンプ	A-2	25.12.27	1.4
	消防ポンプ自動車	す 7235	いすゞ エルフ	8	4,570	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	8.10.14	18.6
	化学消防ポンプ自動車	は 38	いすゞ フォワード	11	8,220	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	11.11.29	15.5
	小型動力ポンプ		シバウラ TF15SE	61	166	シバウラ 1段タービン	C-1	61. 2.24	28.2
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	21	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	21. 8.17	5.8
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21B	25	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	25.12.27	1.4
	広報連絡車	す 9644	ニッサン ADバン	27	1,490			27.2.3	0.2
南 分 署	救急自動車	す 3989	トヨタ ハイメディック	19	2,690	高規格		19.12.17	7.4
	消防ポンプ自動車	す 8737	いすゞ エルフ	25	2,990	モリタ 1段ボリュート式ポンプ	A-2	25.12.27	1.4
	水槽付消防ポンプ自動車	は 954	日野 レンジャー	25	6,400	モリタ 無給油式ピストン真空ポンプ	A-2	25.2.7	2.2
	小型動力ポンプ付水槽車	は1176	日野 レンジャー	27	7,680	トーハツVF63AS	B-1	27.2.9	0.2
	小型動力ポンプ		シバウラ TF516SH	20	182	シバウラ 1段タービン	C-1	20.10.24	6.6
	小型動力ポンプ		トーハツ VF21B	25	209	トーハツ 片吸込1段タービンポンプ	C-1	25.12.27	1.4
	広報連絡車	す 1976	ニッサン ADバン	17	1,490			17.10.31	9.6
北 分 署	救急自動車	す 8846	トヨタ ハイメディック	26	2,690	高規格		26.2.27	1.2
	消防ポンプ自動車	す 5528	いすゞ エルフ	22	2,990	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	22. 2. 4	5.2
	水槽付消防ポンプ自動車	は 678	いすゞ フォワード	21	5,190	モリタ 高圧2段バランスタービン	A-2	21. 2.25	6.2
	小型動力ポンプ		トーハツ V20E	22	198	片吸込 1段タービンポンプ	C-1	22. 2. 4	5.2

無線局配置状況調

(平成27年4月1日現在)

署所別 局別	超短波						
	基地局	移動局				携帯局	
		種別	台	呼出	台	呼出	
消防本部		司令車	1	だてしょうしれい	1	9	101 102 103 104 105
		巡察車	1	〃	2		
		人員資器材搬送車	1	〃	3		
		事務連絡車	1	〃	4		
		防火広報車	1	〃	5		
中央消防署	第1	救急自動車	2	だてきゅうきゅう	1	19	111 112 113 114 115 116 117 118 119 120
		広報連絡車	1	だてしょうちゅうおう	11		
		救急自動車	1	〃	12		
		消防ポンプ自動車	1	〃	13		
	第2	消防ポンプ自動車	1	〃	14		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	15		
		救助工作車	1	〃	16		
	第3	はしご付消防自動車	1	〃	17		
		指揮兼照明車	1	〃	18		
		資機材搬送車	1	〃	19		
東分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうひがし	31	7	131 132 133 134 135 136
		救急自動車	1	〃	32		
		消防ポンプ自動車	1	〃	33		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	34		
西分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうにし	41	8	141 142 143 144 145 146 147 148
		救急自動車	1	〃	42		
		救急自動車	1	〃	43		
		消防ポンプ自動車	1	〃	44		
		消防ポンプ自動車	1	〃	45		
		化学消防ポンプ自動車	1	〃	46		
南分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうみなみ	51	5	152 153 154 155 156
		救急自動車	1	〃	52		
		消防ポンプ自動車	1	〃	53		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	54		
		小型動力ポンプ付水槽車	1	だてすいそう	1		
北分署	第1	広報連絡車	1	だてしょうきた	61	6	161 162 163 164 165 166
		救急自動車	1	〃	62		
		消防ポンプ自動車	1	〃	63		
		水槽付消防ポンプ自動車	1	〃	64		
合計	8		35			54	

消防機器材の現有状況

(平成27年4月1日現在)

種別	区分	合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式
警	中継用布水槽	5		1	1	1	1	1	マリーンA500
	放水銃座	4		0	1	1	1	1	TSWG1.3型
	背負い式散放水器	113		33	18	26	26	10	181型
	簡易発泡器	5		1	1	1	1	1	
	ロータリー管そう	13		4	2	3	2	2	
	消火栓立上媒介金具	19		5	3	5	4	2	
	二又分岐金具	16		3	2	5	4	2	
	三連梯子	13		5	2	2	2	2	
	二連梯子	8		3	1	2	1	1	
	平梯子	6		2	1	1	1	1	カギ付
	大かぎ付単梯子	2		2					KHFL-31
	エンジンカッタ一	5		1	1	1	1	1	パートナー、K-12D
	ボルトカッタ一	15	2	4	2	3	2	2	10m/m、5m/m
	携帯投光器	8		4	1	1	1	1	
	空気呼吸器	80		42	6	15	11	6	ライフゼム
	酸素呼吸器	5		5					〃
	空気ボンベ	228		180	12	12	12	12	
防	耐熱服	16		7	2	3	2	2	4型
	トランジスターメガホン	29	3	15	3	3	3	2	
	ホースブリッジ	29		9	4	6	6	4	50・60mm兼用型S-330-W
	東消式フォグガン	10		2	2	2	2	2	T-200
	オイルフェンス	15		3	3	3	3	3	10m
	携帯発電機	18	0	5	4	3	4	2	ホンダ等
	耐電・絶縁用具一式	9	1	8					
	林野火災用高圧ポンプ	1		1					ウォータールート350NS一式
	訓練用人形	2		2					ダミー
	泡ノズル	7		2	1	2	1	1	ピックアップ式RP-200
救急	エアーテント一式	2		2					アキレスA-45
	心肺蘇生用訓練器	36		36					レールダル社
	AEDトレーナ	29		29					レールダル社 日本光電
	トリアージ訓練キット	1		1					
	酸素ボンベ	150		130	4	8	4	4	
	防刃ベスト	21		6	3	6	3	3	
	生体情報モニター	7		2	1	2	1	1	DASH3000
	血圧計	14		4	2	3	3	2	
	ショックパンツ	8		2	1	2	2	1	米国デービットクラーク社製
	喉頭鏡	14		4	2	3	3	2	マッキントッシュ型
	異物除去用鉗子	9		3	1	2	2	1	マギール鉗子
	気道管理トレーナ	5		1	1	1	1	1	レールダル社製
	自動式心マッサージ器	2			1		1		LUCAS2
	救急車室内紫外線殺菌装置	1		1					
	血中酸素飽和濃度測定器	13		2	2	3	3	3	
	トリアージシート	5		1	1	1	1	1	

種別	区分	合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式
救急	バクボート	11		3	2	2	2	2	
	ガス滅菌器	1		1					
	人工蘇生器	9		2	2	1	2	2	
	リングカッタ	6		1	1	2	1	1	
	心電計	5		1	1	1	1	1	
	除細動器	13		3	2	3	3	2	
	輸液セツト	5		1	1	1	1	1	
	気道確保チューブ	5		1	1	1	1	1	
	ターポリン担架	14		2	2	4	4	2	
	高度救急処置シミュレーター	3		3					
救援	輸液訓練用モデル	5		1	1	1	1	1	
	殺菌ロツカ一	5		1	1	1	1	1	
	救急技術教育ビデオ	1		1					一式
	特定行為専用バックセット	5		1	1	1	1	1	
	防爆型携帯電灯	6		6					JL 05104
	空気式救助マット	1		1					ソフトランディング、SL-40
	レンジヤード担架	15		4	3	3	2	3	平、舟型、TIスプリット、スケッド
	簡易担架	18	2	3	3	3	4	3	
	救命索発射銃	0							
	救命索発射装置	2		2					レスキューショット
救助	空気式救助バッグ	8		8					マイティーバック一式
	安全マット	2		2					
	安全ネット	1		1					DR式
	張力計	3		3					YR-100
	柱上安全帶	6		6					73D、R455、R425、5B
	大型油圧救助器具	1		1					ルーカス
	充電式油圧救助器具	3		2			1		オグラ等
	チエーンブロック	1		1					3t
	チルホール	9		8			1		T-7、TU-16、T-35
	チエーンソー	7		3	1	1	1	1	マッカラー、スチール
助	エアソード	1		1					タイガー
	携帯用エアツール	3		3					Aセット、Bセット、アジャックス
	ガス遮断機	1		1					ニューチョパック
	ポートパワー	2		2					20t
	削岩機	2		2					ピコ14、DH40MRY
	ファイバースコープ	1		1					カールシーカーMY-400
	救助用ボート	3		3					アキレスSU-14、アキレスSE365
	救助ボート用船外機	3		3					ホンダBF9.9AMJ、ヤマハ20CM
	救命胴衣	61		25	9	9	9	9	JKS1~3、ライフジャケット
	救命浮環	18		4	3	4	4	3	
救助	かぎ付はしご	1		1					KHFL-CT
	ワイヤーはしご	1		1					ケーピングラダー--11m
	マンホール救助器具	1		1					ロールグリスMR-110
	携帯用コンクリート破壊器具	1		1					ストライカーTR-800
	防毒マスク	5		5					GM-164有機缶付き
	携帯警報器	10		10					レスキューコール
	放射線防護服	3		3					NUK-500

区分		合計	本部	中央	東	西	南	北	性能・型式
救	放射線測定器(空間線量計)	33	15	6	3	3	3	3	NHE20CY3-131BY-S
	放射線測定器(表面汚染検査計)	16	11	1	1	1	1	1	RDS-80
	個人線量計	234	94	46	22	25	25	22	DOSE i-γ
	吊り上げ救助器具	1		1					4ポイントブラインドール一式
	送排風機	1		1					RFE-282Y
	防塵マスク	5		5					DR-165-6
	帯電服	5		5					YS-121
	帯電ズボン	5		5					YS122
	化学生防護服	3		3					RS-11000
	緩降機	1		1					スローダウン20m
助	ロープ升降機	3		3					ASCENSION BO7R
	コンクリート・鉄筋切断用チェーンソー	1		1					CT101 CB
予	煙体験用資器材	2	1	1					体験ハウス、発煙機、発電機
	映写機	3	2	1					ホクシン16m/m・液晶VIP400
	投影機	3	3						プラス。OHP CX-500
	ビデオ装置	6	1	1	1	1	1	1	NV-H230G
	カメラ	11	2	2	2	2	1	2	
	インスタントカメラ	7	1	2	1	1	1	1	F-50 S
	テープレコーダー	11	1	2	2	2	2	2	
	自記温湿度計	1		1					シグマII型
	スクリーン	3	1	2					プラスKSV-80
	映画フィルム	27	27						
防	騒音計	1	1						OS-11
	電子テスター	1	1						日置
	漏電遮断機テスター	2	2						〃
	自動接地抵抗計	1	1						ナショナル
	ガス検知器	7	1	1	1	2	1	1	XP305・他に北側式(5)
	放水圧力測定器	3	3						40用E-1、65用E-2
	引火点試験器	2	2						タグ密閉式、クリーンブライント開放式
	膜厚計	3	3						SL-F20型・SM-1500 D
	加熱試験器	1	1						HK3
	メジヤーボール	5		1	1	1	1	1	8段6m
そ	訓練用水消火器	51		15	9	9	9	9	
	エアコンプレッサー	5		1	1	1	1	1	
	ガレージジャッキ	6		2	1	1	1	1	10t、5t、3t
	サービスキット	5		1	1	1	1	1	
	リジットラック	10		2	2	2	2	2	5t用
	洗車機	5		1	1	1	1	1	
	エアーインパクトレンチ	1		1					空研KW-14HP
	電気ドリル	1		1					
	電気ディスクグラインダー	1		1					
	電気丸のこ	1		1					
の	コンビネーションガス測定器	11		7	1	1	1	1	
	空気充填用コンプレッサー	1		1					AVC14型
	充電器	6		1	1	1	1	2	
	エアーガスセット	1		1					いわたW71-3S
他	エレクトロツールセット	7	1	2	1	1	1	1	宝山S-10

救 助 統 計



事故種別出場件数活動件数調

(平成26年)

件数区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出 場 件 数		1			58	1	1	2			10	73
活 動 件 数		1			15			2			8	26

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別車両別救出者搬送人員調

(平成26年)

件数区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
救 急 自 動 車					14			2			6	22
消防機関のその他の車両等												
消防機関以外の車両等 (ドクター ヘリ等)					2						1	3
計					16			2			7	25

(注) 1 本表は、事故種別ごとに、救出者の搬送方法を記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場人員活動人員調

(平成26年)

件数区分		事故種別		火	災	交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	計
		建物	建物以外											
出 場 人 員	専任救急隊員													
	兼任救助隊員	5		224	4	6	11						35	285
	消防隊員	23		139	3		10						28	203
	救急隊員			241	3		7						34	285
	消防団員													
	計	28		604	10	6	28						97	773
活 動 人 員	専任救急隊員													
	兼任救助隊員	5		51			11						28	95
	消防隊員	23		40			10						21	94
	救急隊員			56			7						28	91
	消防団員													
	計	28		147			28						77	280

(注) 1. 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した人員及び活動した人員を記載する。

2. 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

事故種別出場車両及び活動車両等台数調

(平成26年)

件数区分	事故種別	火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
		建物	建物以外									
出 場 車 両 等	救助工作車	1 (1)		56 (13)	1	1	2 (2)				8 (6)	69 (22)
	ポンプ自動車	4 (4)		19 (7)	1		2 (2)				7 (6)	33 (19)
	届折はしご車・はしご車					1						1
	化 学 車	1 (1)		19 (4)			1 (1)					21 (6)
	指揮車・司令車	1 (1)									1	2 (1)
	救 急 車			78 (18)	1		2 (2)				11 (9)	92 (29)
	船 舶											
	ヘリコプター											
	その他の	1 (1)		5 (1)			2 (2)				4 (4)	12 (8)
	消防団車両											
	計	8 (8)		177 (43)	3	2	9 (9)				31 (25)	230 (85)

(注)1 本表は、事故種別ごとに、救助活動のために出場した車両等のうち実際に活動した車両等の台数について記載する。

2 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

3 ()は、活動車両

事故種別発生場所別出場件数及び活動件数調

(平成26年)

件数区分		事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他事故	計
		建物	建物以外											
屋内	住居		1 (1)										2 (1)	3 (2)
	その他の屋内													
道路	高国道				7 (1)									7 (1)
	その他の道路				46 (11)									46 (11)
屋外	水面内				1 (1)	1							1 (1)	3 (2)
	水面外													
	山岳												2 (2)	2 (2)
	その他の屋外				4 (2)			1	2 (2)				5 (4)	12 (8)
地下	下													
その他														
計		1 (1)		58 (15)	1	1	2 (2)						10 (8)	73 (26)

(注)1 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

2 ()は、活動件数

事故種別発生場所別救助人員調

(平成26年)

件数区分		事故種別		火災		交通事故	水難事故	風水害等自然災害	機械による事故	建物等による事故	ガス及び酸欠事故	爆発事故	その他の事故	計
		建物	建物以外											
屋内	住居	1											1	2
	その他の屋内													
屋外	道路	高速道路 国道			1									1
		その他の道路			12									12
	水面	内水面			1								1	2
		外水面												
	山岳												2	2
	その他の屋外				2				2				4	8
地下														
その他														
	計	1		16					2				8	27

(注) 本表において、「火災」とは救助活動を行った火災をいうものである。

救急統計



平成26年救急活動の概要

1 救急出場状況

救急出場件数は4,657件で、前年より67件(1.5%)増加し、搬送人員も4,410人で前年より35人(0.8%)増加している。

搬送人員を年齢別に見ると老人(65歳以上)が3,008人(前年比11人増0.4%増)で全体の68.2%を占めている。

次いで成人(18歳から64歳)が1,171人(前年比25人増2.2%増)で全体の26.6%となっている。

1日平均出場件数は12.7件で、やや前年より増加している。

伊達消防本部管内では、約22.9人に1人の割合で救急車を利用したことになる。

現場到着までの平均所要時間は8.4分である。(H25年全国平均8.5分)

2 月別出場件数

月別の救急出場状況は8月の450件が最も多く、次いで4月の413件となっている。

また、月平均出場件数は388.1件(前年比5.5件増、1.4%増)で、月平均搬送人員は367.5人(前年比2.9人増、0.8%増)となっている。

3 市町別出場状況

市町別出場件数では、伊達市(旧伊達、保原、梁川、靈山、月館町)が2,752件(前年比46件増、1.7%増)と最も多く、次いで川俣町の741件(前年比15件増、2.1%増)、桑折町493件(前年比34件減、6.5%減)の順となっている。

4 事故種別出場状況

事故種別では、急病の出場件数が3,167件(前年比55件増、1.8%増)で最も多く、全体の68.0%を占めている。次いで一般負傷650件(前年比61件増、10.4%増)全体の14.0%、転院搬送361件(前年比43件減、10.6%減)全体の7.8%、交通事故328件(前年比同じ)全体の7.0%の順となっている。

5 医療機関別搬送状況

搬送人員の57.9%にあたる2,553人(前年比130人増、5.4%増)が管内の医療機関に搬送され、42.1%にあたる1,857人(前年比95人減、4.9%減)が管外の医療機関に搬送されている。

6 高速道路(東北自動車道)への出場状況

東北自動車道への出場状況は、22件(前年比10件減、31.2%減)、搬送人員は18人(前年比11人減、37.9%減)となっている。

特に交通事故による出場件数は、10件(前年比6件減、37.5%減)で、全体の45.4%を占めており、急病は8件(前年比4件減、33.3%減)で、全体の36.4%となっている。

市町別・月別救急出場状況

(平成26年)

月別 市町名 区分		1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	合計 (A)	前年 (B)	増減数 A-B (C)	増減率 % C/B×100	
伊達市	旧伊達町	出場件数	44	29	39	46	42	43	42	45	46	31	42	42	491	527	△ 36	△ 6.83
	旧伊達町	搬送人員	43	27	36	45	40	39	39	45	45	29	40	41	469	489	△ 20	△ 4.09
	旧梁川町	出場件数	54	74	47	69	58	48	71	62	48	56	53	73	713	683	30	4.39
	旧梁川町	搬送人員	50	70	44	67	55	45	68	61	48	53	52	69	682	660	22	3.33
	旧保原町	出場件数	72	78	71	93	73	59	75	93	85	80	80	76	935	963	△ 28	△ 2.91
	旧保原町	搬送人員	67	77	66	87	69	58	71	91	83	77	75	72	893	914	△ 21	△ 2.30
	旧靈山町	出場件数	46	48	29	35	34	29	35	52	35	31	39	31	444	382	62	16.23
	旧靈山町	搬送人員	41	48	28	34	30	25	35	52	34	29	36	26	418	356	62	17.42
	旧月館町	出場件数	14	8	9	7	14	10	15	18	23	9	23	19	169	151	18	11.92
	旧月館町	搬送人員	14	8	8	7	11	10	16	17	23	8	21	18	161	144	17	11.81
伊達郡	小計	出場件数	230	237	195	250	221	189	238	270	237	207	237	241	2,752	2,706	46	1.70
		搬送人員	215	230	182	240	205	177	229	266	233	196	224	226	2,623	2,563	60	2.34
	桑折町	出場件数	42	41 (1)	37	38	45 (2)	31	43	52 (1)	40	35	46	43	493 (4)	527 (5)	△ 34	△ 6.45
		搬送人員	38	35	36	37	43 (2)	30	42	49 (1)	39	34	43	42	468 (3)	506 (6)	△ 38	△ 7.51
	国見町	出場件数	42 (1)	35 (1)	41 (1)	48 (4)	41	33	37	43 (1)	29 (1)	33 (1)	28	39	449 (2)	406 (16)	43 △ 4	10.59
		搬送人員	40 (1)	31 (1)	37 (1)	47 (4)	38	29	37	39 (1)	29 (1)	31 (1)	27	36	421 (11)	391 (15)	30 △ 4	7.67
	川俣町	出場件数	67	71	58	59	57	46	71	65	55	72	53	67	741	726	15	2.07
		搬送人員	65	64	58	56	54	45	69	57	54	68	47	61	698	703	△ 5	△ 0.71
福島市	飯野町	出場件数	12	22	18	16	17	15	22	15	19	9	18	16	199	208	△ 9	△ 4.33
		搬送人員	11	20	19	13	20	13	20	14	19	8	17	15	189	197	△ 8	△ 4.06
	その他	出場件数	6 (2)	1		2	2		1	5 (4)	2	2		2	23	17 (6)	6 (11)	35.29 △ 5
		搬送人員	5 (2)	1		2			2 (2)	1					11 (4)	15 (8)	△ 4 △ 4	△ 26.67
合計	出場件数	399 (3)	407 (2)	349 (1)	413 (4)	383 (2)	314 (2)	412 (6)	450 (1)	382 (1)	358 (1)	382 (1)	408 (2)	4,657 (22)	4,590 (32)	67 △ 10	1.46	
	搬送人員	374 (3)	381 (1)	332 (1)	395 (4)	360 (2)	294 (2)	397 (4)	427 (4)	375 (1)	337 (1)	358 (1)	380 (1)	4,410 (18)	4,375 (29)	35 △ 11	0.80	

()は、東北自動車道への出場状況

市町別・事故種別救急出場状況

(平成26年)

市町名 区分	事故種別	火災	自然 災害	水難	交通 事故	労働 災害	運動 競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他			合計	
												転院 搬送	医師 搬送	資機材 等輸送		
伊 達 市	旧 伊達町 搬送 人員	出場 件数			24	3	3	59	4	1	308	88			1	491
	旧 梁川町 搬送 人員	出場 件数	3		22	3	3	56	4	1	292	88				469
	旧 保原町 搬送 人員	出場 件数			49	12	5	115	1	8	495	24			1	713
		搬送 人員	1		53	11	5	115		6	467	24				682
	旧 保原町 搬送 人員	出場 件数			79	12	8	125	7	6	611	84			3	935
		搬送 人員			80	12	8	115	5	3	585	84				893
	旧 靈山町 搬送 人員	出場 件数			23	11	1	72		2	310	21			4	444
		搬送 人員			22	11	1	71		1	290	21			1	418
伊 達 郡	旧 月館町 搬送 人員	出場 件数			13	1		21		1	128	3			2	169
		搬送 人員			13	1		20		1	122	3			1	161
	小計	出場 件数	3		188	39	17	392	12	18	1852	220			11	2752
		搬送 人員	1		190	38	17	377	9	12	1756	220			3	2623
伊 達 郡	桑折町 搬送 人員	出場 件数	1		38 (3)	4	3	56		2	378 (1)	10			1	493 (4)
		搬送 人員	2		37 (2)	4	3	54		1	357 (1)	10				468 (3)
	国見町 搬送 人員	出場 件数			21 (2)	4		57 (3)	1	5	301 (7)	59			1	449 (12)
		搬送 人員			19 (2)	4		55 (3)		3	282 (6)	58				421 (11)
福 島 市	川俣町 搬送 人員	出場 件数	1		56	7	2	108		2	492	67			6	741
		搬送 人員	1		58	5	2	106		2	456	68				698
福 島 市	飯野町 搬送 人員	出場 件数			16	1	5	33		2	136	5			1	199
		搬送 人員			17	1	5	31		1	129	5				189
その他	出場 件数				9 (5)			4 (1)			8				2	23 (6)
	搬送 人員				6 (3)			2 (1)			3					11 (4)
合計	出場 件数	5			328 (10)	55	27	650 (4)	13	29	3,167 (8)	361			22	4,657 (22)
	搬送 人員	4			327 (7)	52	27	625 (4)	9	19	2,983 (7)	361			3	4,410 (18)

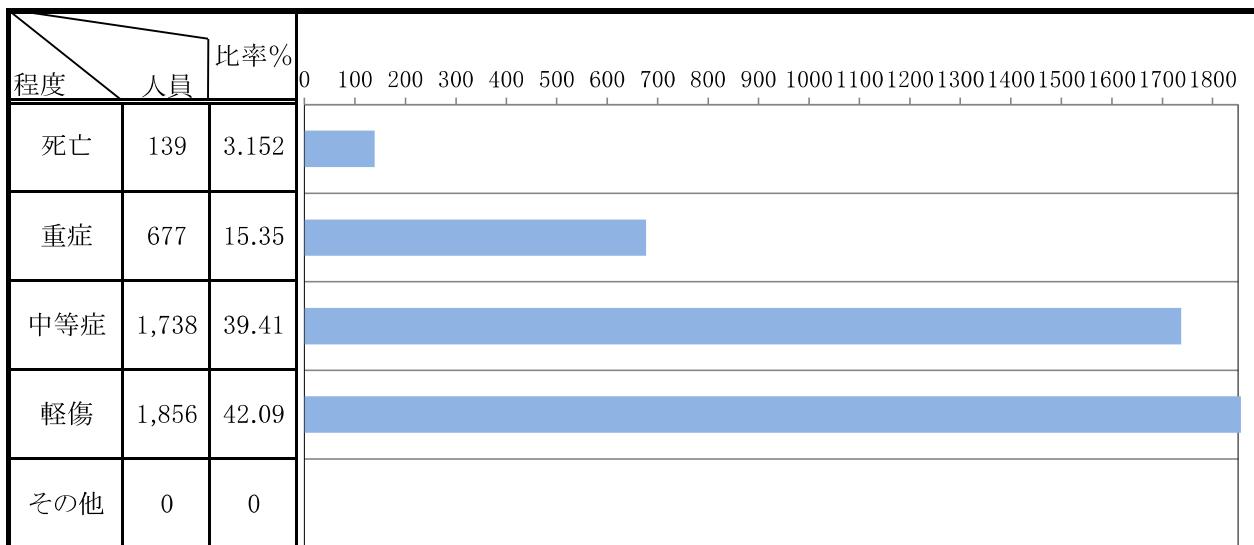
()は、東北自動車道への出場状況

事故種別救急出場状況(前年比較)

(平成26年)

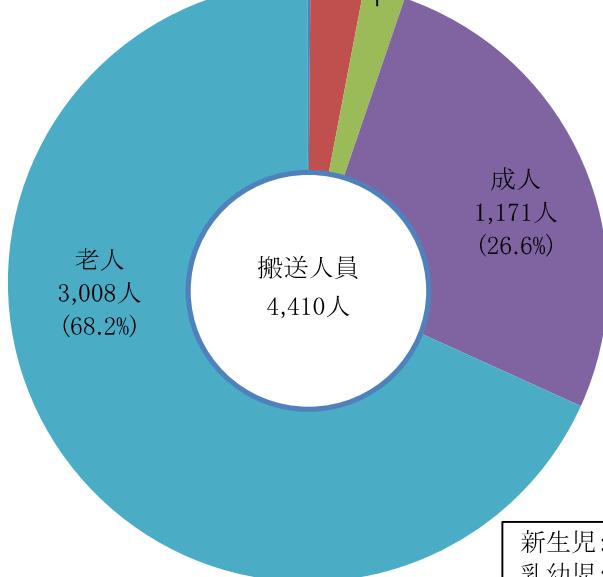
区分		平成26年 (A)	平成25年 (B)	増減数 (C)=(A)-(B)	増減率(100%) (C)÷(B)×100
火災	出場件数	5	13	△ 8	△ 61.5
	搬送人員	4	12	△ 8	△ 66.7
自然災害	出場件数	0	0	0	0.0
	搬送人員	0	0	0	0.0
水難	出場件数	0	3	△ 3	300.0
	搬送人員	0	0	0	0.0
交通	出場件数	328	328	0	0.0
	搬送人員	327	343	△ 16	△ 4.7
労働災害	出場件数	55	40	15	37.5
	搬送人員	52	40	12	30.0
運動競技	出場件数	27	27	0	0.0
	搬送人員	27	26	1	3.8
一般負傷	出場件数	650	589	61	10.4
	搬送人員	625	569	56	9.8
加害	出場件数	13	15	△ 2	△ 13.3
	搬送人員	9	12	△ 3	△ 25.0
自損行為	出場件数	29	45	△ 16	△ 35.6
	搬送人員	19	31	△ 12	△ 38.7
急病	出場件数	3,167	3,112	55	1.8
	搬送人員	2,983	2,937	46	1.6
その他	出場件数	383	418	△ 35	△ 8.4
	搬送人員	364	405	△ 41	△ 10.1
合計	出場件数	4,657	4,590	67	1.5
	搬送人員	4,410	4,375	35	0.8

搬送人員傷病程度別分類狀況



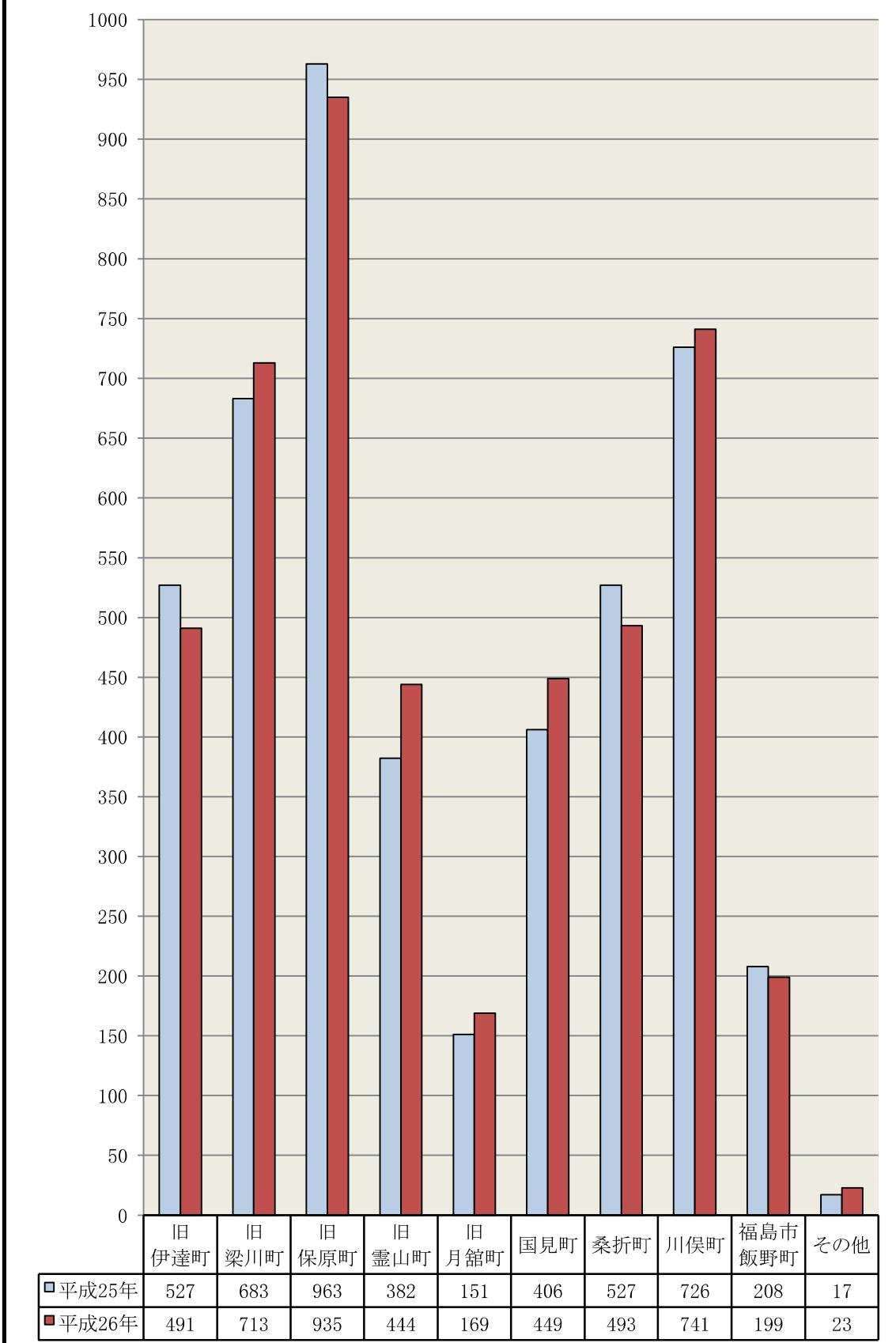
搬送人員年齢別比率

新生児 6人(0.1%) 乳幼児 127人(2.9%)
少年 98人(2.2%)



新生児:生後28日以内の者
乳幼児:生後29日以上6才までの者
少年:7歳以上17才までの者
成人:18才以上64才までの者
老人:65才以上の者

市町別救急出場状況(前年比較)

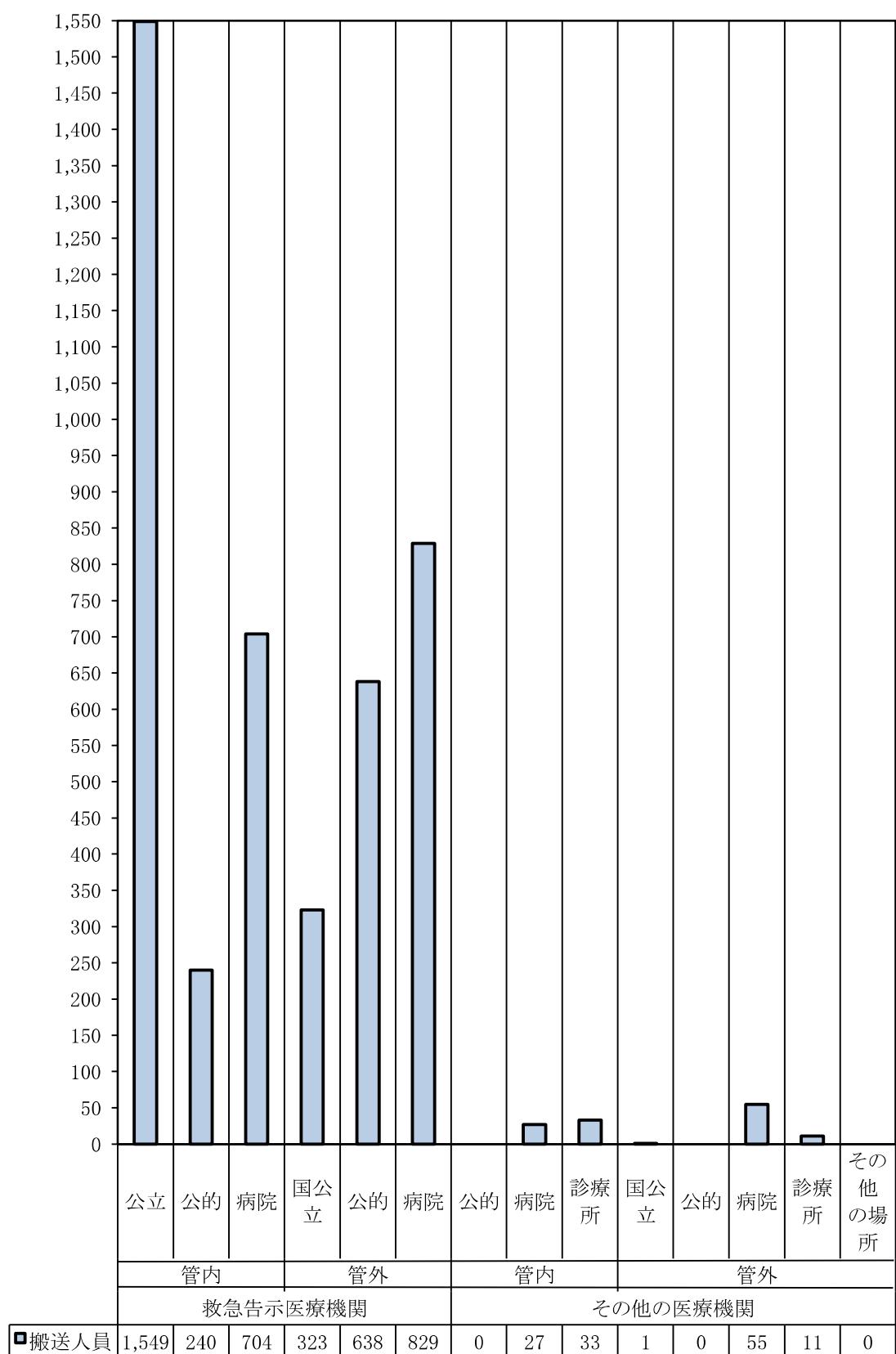


急病にかかる疾病分類別傷病程度別搬送人員調

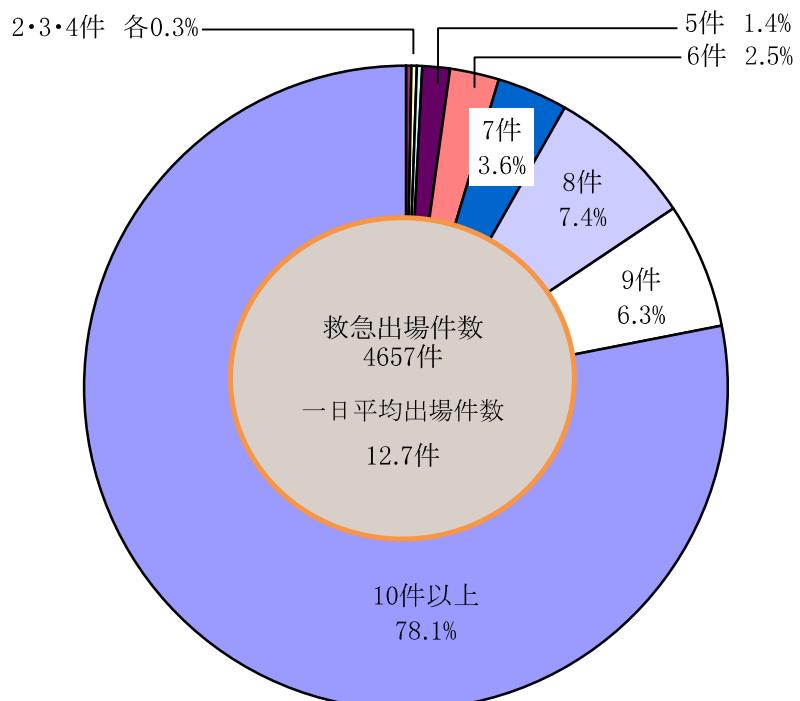
(平成26年)

区分	循環器系		消化器系	呼吸器系	精神系	感覚系	泌尿器系	新生物	その他	診断名不明確	計
	脳疾患	心疾患									
新生児	死 亡										
	重 症										
	中等症								1		1
	軽 症									1	1
	その 他										
	計								1	1	2
乳幼児	死 亡										
	重 症										
	中等症		2	2					1	25	30
	軽 症		1	7		2			4	42	56
	その 他										
	計		3	9		2			5	67	86
少年	死 亡										
	重 症										
	中等症		1	2		1			1	3	8
	軽 症		5	4	6	2			2	18	37
	その 他										
	計		6	6	6	3			3	21	45
成人	死 亡	5							1		6
	重 症	18	11	3	5	3		1	2	5	48
	中等症	13	15	44	8	6	17	14	7	31	49
	軽 症	10	35	30	26	53	31	29	1	76	115
	その 他										
	計	41	66	77	39	62	48	44	11	112	170
老人	死 亡	4	50	1	14				6	3	34
	重 症	115	65	24	59	1	3	8	21	27	27
	中等症	103	106	118	226	5	38	50	27	163	189
	軽 症	57	94	57	71	22	18	27	10	107	230
	その 他										
	計	279	315	200	370	28	59	85	64	300	480
合計	死 亡	4	55	1	14				6	3	34
	重 症	133	76	27	59	1	3	8	21	27	27
	中等症	116	121	165	226	5	38	50	27	163	189
	軽 症	67	129	93	71	22	18	27	10	107	230
	その 他										
	計	320	381	286	424	96	112	129	75	421	739
											2,983

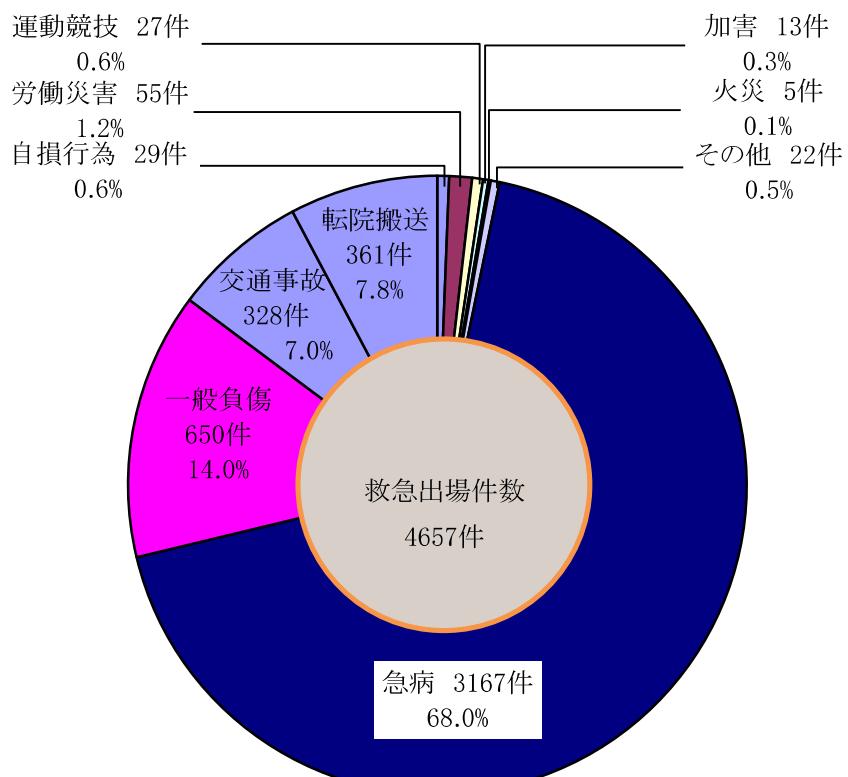
医療機関別搬送状況



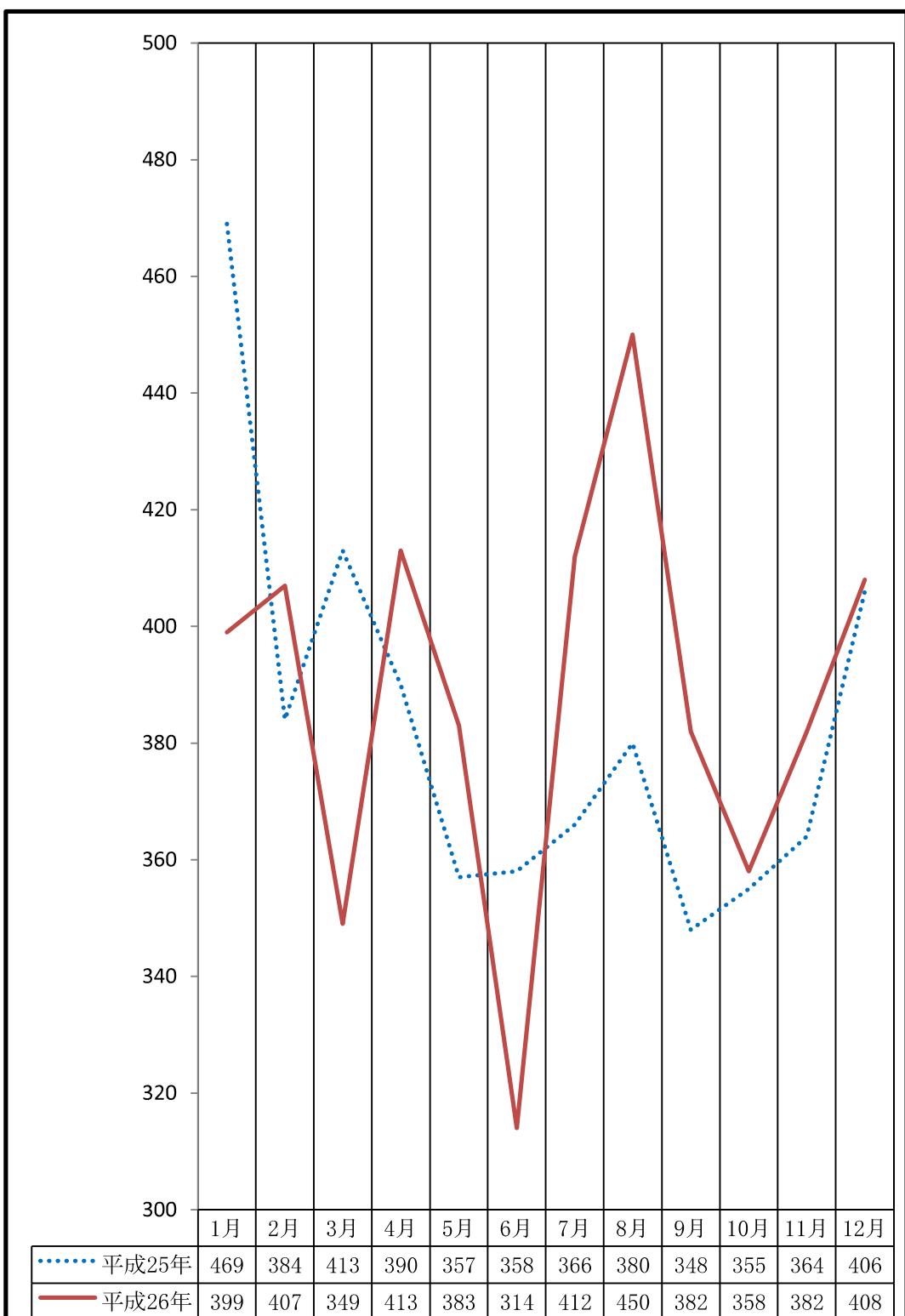
一日の救急出場件数比率



事故種別救急出場件数比率



月別出場件数(前年比較)



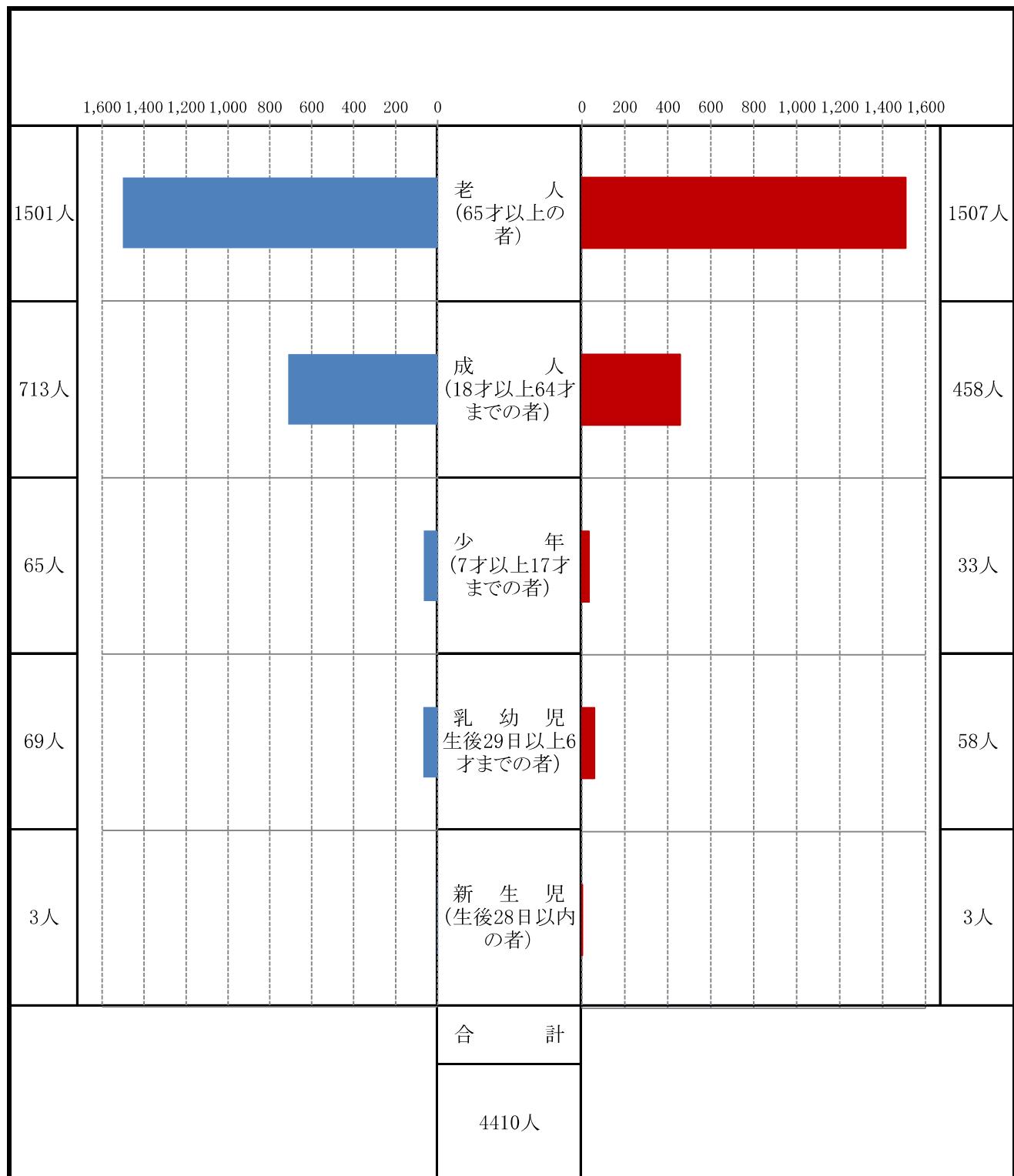
事故種別・時間別救急出場状況

区分	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他				合計
											転院搬送	医師搬送	資器材等輸送	その他	
時間別	0~2				8		18	1	2	126	2			3	160
	2~4				3	1	15	1	1	108	3				132
	4~6				9		23	1	1	141	1				176
	6~8	1			35	4	55	1	2	286	6			2	392
	8~10				39	9	1	95		2	390	51		2	589
	10~12	1			49	7	8	92		3	334	73		3	570
	12~14				43	6	9	64		2	334	72		3	533
	14~16				43	11	5	81	1	6	296	57		1	501
	16~18				54	9		68	1	6	299	63		3	503
	18~20	2			24	5	1	59	2		360	20		3	476
	20~22	1			11	1	3	49	1	2	289	10		1	368
	22~24				10	2		31	4	2	204	3		1	257
合計		5			328	55	27	650	13	29	3,167	361		22	4,657

性別・年齢別搬送人員状況

(男 2351人)

(女 2059人)



過去5年間の事故種別救急出場状況

区分		合計	火災	自然 災害	水難	交通事故	労働 災害	運動競技	一般 負傷	加害	自損 行為	急病	その他
平成22年	出場 件数	4204	9		1	324	30	45	540	8	46	2798	403
	搬送 人員	4060	8			348	30	46	514	7	36	2679	392
平成23年	出場 件数	4755	2	11	1	321	42	20	641	9	47	3226	435
	搬送 人員	4555	2	10		339	42	21	616	8	33	3064	420
平成24年	出場 件数	4660	5			308	40	35	635	4	34	3174	425
	搬送 人員	4476	5			352	40	34	609	4	21	3005	406
平成25年	出場 件数	4590	13		3	328	40	27	589	15	45	3112	418
	搬送 人員	4375	12			343	40	26	569	12	31	2937	405
平成26年	出場 件数	4657	5			328	55	27	650	13	29	3167	383
	搬送 人員	4410	4			327	52	27	625	9	19	2983	364

(過去5年間の平均出場状況)

平均	出場 件数	4573.2	6.8	2.2	1.0	321.8	41.4	30.8	611.0	9.8	40.2	3095.4	412.8
	搬送 人員	4375.2	6.2	2.0	0.0	341.8	40.8	30.8	586.6	8.0	28.0	2933.6	397.4

現場到着所要時間別出場件数調

区分	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	計
急 病	122	346	1684	952	63	3167
交 通 事 故	6	27	158	107	30	328
一 般 負 傷	24	47	351	206	22	650
そ の 他	25	105	293	76	13	512
計	177 (3.6%)	525 (12.4%)	2486 (56.1%)	1341 (26.4%)	128 (1.5%)	4657

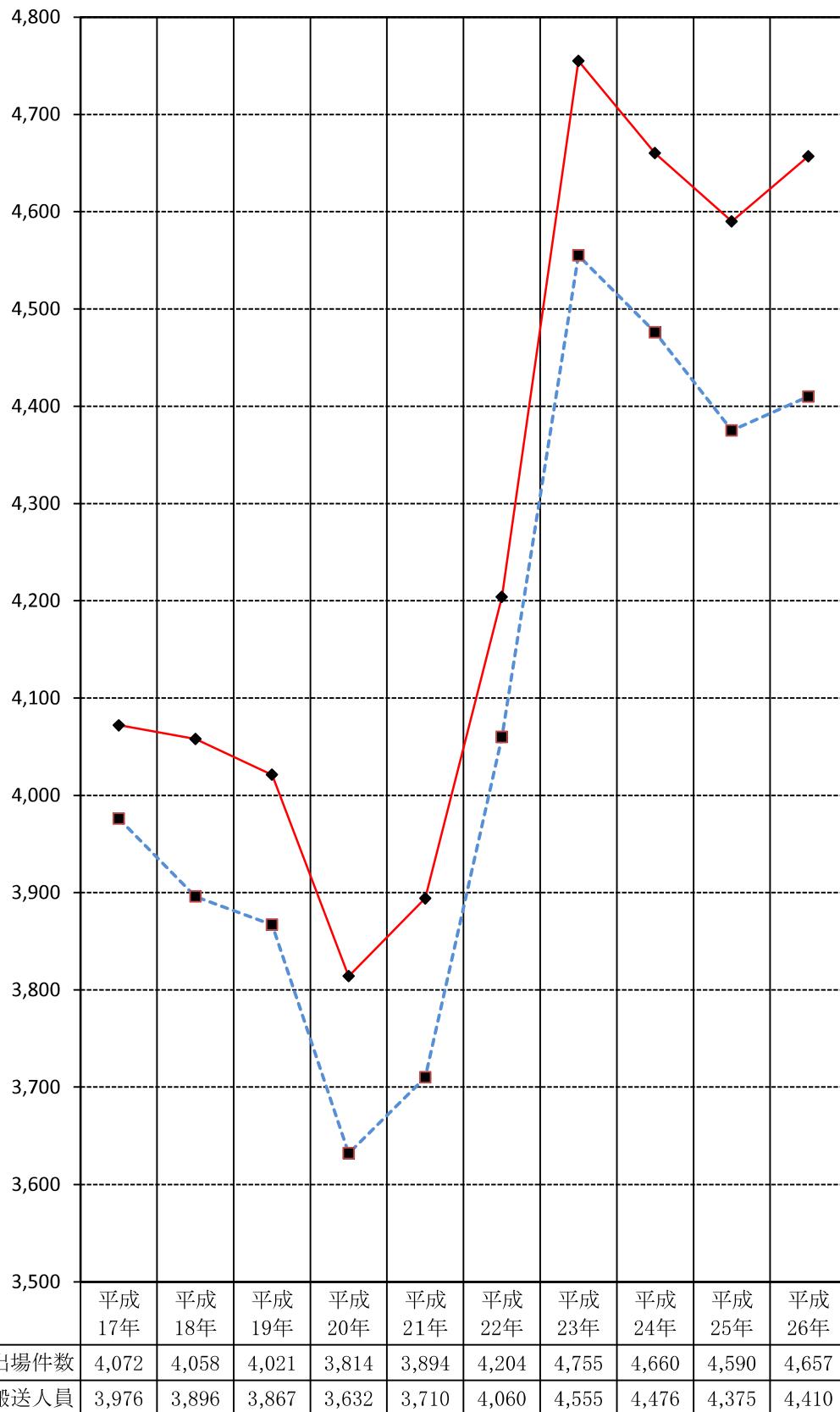
(注) 本表は、覚知から現場到着までに要した時間区分ごとの件数を記載したものである。

収容時間別搬送人員数調

区分	10分未満	10分以上 20分未満	20分以上 30分未満	30分以上 60分未満	60分以上 120分未満	120分以上	計
急 病		56	536	2030	355	6	2983
交 通 事 故		2	27	227	70	1	327
一 般 負 傷		2	85	409	122	7	625
そ の 他		5	84	346	39	1	475
計	0 (0.0%)	65 (1.5%)	732 (16.6%)	3012 (68.3%)	586 (13.3%)	15 (0.3%)	4410

(注) 本表は、覚知から傷病者を医療機関等に収容した時までに要した時間区分ごとの搬送人員を記載したものである。

過去10年の救急出場件数



市町別の救急出場率及び搬送割合の推移

区分 市町別	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)	(A)	(B)
伊達市	354.1	28.2	422.6	24.6	426.1	23.5	417.5	23.9	433.5	23.1
桑折町	346.1	28.9	454.1	23.1	403.6	24.8	416.8	23.9	397.4	25.2
国見町	320	31.2	387.1	27.2	415.3	24.1	405.8	24.6	461.5	21.7
川俣町	396.3	25.2	495.2	21.3	495.5	20.2	478.2	20.9	506.8	19.7
福島市 飯野町	306.4	32.6	364.5	27.4	389.7	25.7	368.2	27.2	349.1	28.6
管内	357.8	27.9	458.3	24.1	430.23	23.2	422.3	23.7	437.4	22.9

※ (A) 救急出場率:人口1万人あたりの救急出場件数

(B) 住民搬送割合:何人に1人の人が、救急車により搬送されているかの割合

平成26年中、伊達消防本部管内においては、約22.9人に1人の割合で救急車で搬送
されていることを表す。

※ 人口は平成26年4月1日現在の推計人口(消防年報より)

署・分署別救急出場状況(前年比較)

区分		平成26年 (A)	平成25年 (B)	増減数 (C)=(A)-(B)	増減率(100%) (C)／(B)×100
中央消防署	出場件数	1,086	1,109	△ 23	△ 2.1
	搬送人員	1,041	1,058	△ 17	△ 1.6
東分署	出場件数	632	562	70	12.5
	搬送人員	592	530	62	11.7
西分署	出場件数	1,312	1,312	0	0.0
	搬送人員	1,242	1,235	7	0.6
南分署	出場件数	918	917	1	0.1
	搬送人員	866	889	△ 23	△ 2.6
北分署	出場件数	709	690	19	2.8
	搬送人員	669	663	6	0.9
合 計	出場件数	4,657	4,590	67	1.5
	搬送人員	4,410	4,375	35	0.8

救急隊が人工呼吸・心臓マッサージを実施した傷病者調

区分		事 故 種 別				
(対象者)	急病	交通事故	一般負傷	その他	計	
	134		9	10	153	
内訳	脳疾患	5				5
	心疾患	99		1	2	102
	呼吸系	2		6	2	10
	その他	28		2	6	36
搬送時の 医師の診 断の結果	死亡	118		7	8	133
	重症	15		2	2	19
	中等症	1				1
	軽症					